

FILE No. 20
教育委員会事務局

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2**の各課総括表をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
指導室	42		親子でアート～学校をアート～(21世紀プロジェクト)
	846		教職員研修
	853		教職員研修所維持運営
	860		教育研究奨励
	861		水泳指導
	862		中学校課外クラブ
	863		スポーツ教室・音楽教室
	865		音楽鑑賞教室
	866		外国人英語指導
	867		帰国児童生徒教育
	868		海外派遣・親善訪問団受入
	869		各種委員会活動
	870	1	不登校対策事業
	870	2	指導室運営事務
	871		学校職員代替措置
	872		教育課程編成委員会
	873		教科用図書採択事務
	874		成績一覧表調査委員会
	878		情報教育の推進
	879		パソコン教室の一般開放

次のページへ

社会教育スポーツ課(その1)

次の次のページへ

社会教育スポーツ課(その2)

FILE No. 20
教育委員会事務局

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
社会教育スポーツ課 (その1)	45		中学校対抗駅伝大会(21世紀プロジェクト)
	924		社会教育委員の会議
	926	1	生涯学習の推進
	926	2	家庭教育学級
	926	3	PTA活動育成
	927		情報通信技術(IT)学習推進
	928		学校開放運営委託及び学校開放施設等維持管理
	929		小学校校庭開放(遊びと憩いの場開放)
	930		学校開放連合協議会補助金
	931		学校プール開放
	932		幼稚園園庭及びプール開放
	933		文化財保護審議会運営
	934		文化財の啓発
	935		指定登録文化財保護奨励金
	936		郷土芸能大会
	937		調査報告書刊行
	938		指定登録候補等調査委託
	939		青少年委員活動の支援
	940		青少年社会参加活動推進
	941		地域教育連絡協議会
	942		子ども地域活動促進事業
973		体育指導委員	
974		スポーツ栄誉章	
975		調査・研究(地域スポーツ・社会体育に関する)	

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)

指導室

社会教育スポーツ課(その2)

FILE No. 20
教育委員会事務局

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

3 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
社会教育スポーツ課 (その2)	976		歩っ人(ほっと)すぎなみの推進
	977		歩こう会
	978		わいわいスポーツ教室(心身障害者スポーツ教室)
	979		指導者養成(地域スポーツ)
	980		体育団体育成
	981		体育施設維持運営(松ノ木運動場)
	982		体育施設維持運営(和田堀公園野球場・庭球場)
	983		体育施設維持運営(上井草スポーツセンター)
	984		体育施設維持運営(下高井戸運動場)
	985		体育施設維持運営(馬橋公園運動広場)
	986		体育施設維持運営(塚山公園運動場)
	987		体育施設維持運営(和田堀公園プール)
	988		体育施設維持運営(関根文化公園プール)
	989		体育施設維持運営(阿佐谷けやき公園プール)
	990		体育施設維持運営(高井戸温水プール)
	991		体育施設維持運営(杉十小温水プール・蚕糸の森公園運動場)
	992		体育施設維持運営(高円寺体育館)
	993		体育施設維持運営(妙正寺体育館)
	994		体育施設維持運営(大宮前体育館)
	995		体育施設維持運営(永福体育館)
996		体育施設維持運営(荻窪体育館)	
997		体育施設維持運営(井草森公園運動場)	
998		(財)杉並区スポーツ振興財団に対する運営等補助金	

[前のページへ](#)

社会教育スポーツ課(その1)

[前の前のページへ](#)

指導室

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		親子でアート～学校をアート～（21世紀プロジェクト）			整理番号	42		細番号	
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501		連絡先電話番号	1652	
係名		上位施策名						NO	
予算事業名		企画・調整		コード	05200		創造的な政策形成と行政改革の推進		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等		
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		永福小学校児童・保護者及び全区民		(1) (2) (3)		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		夏休み期間に親子でアート作品の作成に取り組む。完成した作品を公開する。		活動指標名(式)		(1) 永福小学校児童、保護者人数(児童あたり1人とする) (2) 全区民		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		区民の連帯感と愛郷心の醸成を図る。（21世紀プロジェクトが掲げた目的）		成果指標名(式)		(1) 参加延べ人数 (2) 見学者数		
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか								
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
				計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)	人			618	618			
	活動指標(2)	人							
	成果指標(1)	人			520	500			
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円			1,222	781			
	職員数(正規 非常勤)	人			0.01	0.01			特記事項 平成12年度単年度事業
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	91	91	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++	千円	0	0	1,313	872	0		
	単位あたりコスト ÷	円			2,124	1,411			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都からの支出金	千円						
		その他特定財源	千円						
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -	千円	0	0	1,313	872	0			
受益者負担比率 ÷	%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		教職員研修				整理番号	846		細番号				
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501		連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	874		
係名				上位施策名				NO					
予算事業名				教職員研修		コード	72600		豊かな学校教育づくり		53		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成		年度		(1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条、第45条				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				研修受講者(教員)		(2) 教育公務員特例法第19条、第20条						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				教職員研修所「秋川荘」等を利用しての宿泊研修の実施や外部講師を招いての研修会を実施。		活動指標名(式)						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)				研修生同士(他校)で情報交換を行ったり、講師により有益な知識を得ることで、教育課題の解明や指導力の向上につなげる。		成果指標名(式)						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				当面する様々な教育課題を解明することにより、教員の指導力の向上につなげ、より質の高い指導を児童・生徒に提供することで、杉並区の学校教育の充実を図っている。								
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		17年度					
指標	活動指標(1)		人	315	363	262	223	262	280	79.6			
	活動指標(2)		回	82	35	81	34	81	90	42.0			
	成果指標(1)		%	139	104	90	85	90	90	94.4			
	成果指標(2)		%	98	44	90	42	90	90	46.7			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,529	6,661	2,626	1,509	2,626	2,800	93.8			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.40	0.40	0.40	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722	2,722	3,629	3,629			3,629		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	8,251	9,383	6,255	5,138	6,255					
	単位あたりコスト ÷		円	26,193	25,848	23,875	23,041	23,875					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円				518					
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	518			0		
差引:一般財源 -		千円	8,251	9,383	6,255	4,620	6,255						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業対象者である教員の人数が減少傾向にある。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)												
	今後の予測		教育に関する問題が、今後ますます複雑化かつ深刻化することが考えられ、教員の研修に対する期待や要望が増えることが見込まれる。そのため、回数の増よりも、杉並区で現在課題とされていることを重点的に取り上げ、それをクリアするにはどのような研修が必要なのかを検討・見直しをし、内容を充実させていくことが重要視されていくと見込まれる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		教職員研修所維持運営				整理番号	853		細番号		
所属部課名	教育委員会事務局指導室			コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	880	
係名 管理					上位施策名				NO		
予算事業名 教職員研修所維持運営					コード	73000		学校教育の環境整備			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区立学校教職員研修所条例						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 教職員研修所				(2) 杉並区立学校教職員研修所条例施行規則						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 宿泊研修施設の運営維持管理の委託を行い、利用者の受け入れをする。				活動指標名(式) (1) 利用人数(研修目的) (2) 利用人数(区民利用)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設を快適に利用できるようにする。				成果指標名(式) (1) 利用人数 ÷ 利用可能人数 = 稼働率 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 教職員の研修施設としての環境を整備する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	582	437	500	426	500			
	活動指標(2)		人	6709	6306	6200	6444	6200			
	成果指標(1)		%	42	38	70	39	70			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	52,793	53,946	55,160	48,825	54,455			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.46	0.46	0.46	0.46		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629	4,174	4,174	4,174	4,174		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	56,422	58,120	59,334	52,999	58,629			
	単位あたりコスト ÷		円	96,945	132,997	118,667	124,410	117,257			
	財源	受益者負担分		千円	11,723	11,538	10,758	11,011	10,758		
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	11,723	11,538	10,758	11,011	10,758		
差引:一般財源 -		千円	44,699	46,582	48,576	41,988	47,871				
受益者負担比率 ÷		%	20.8	19.9	18.1	20.8	18.3				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成8年の改築後、研修目的以外の区民利用が増えた。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		区民の利用者から感謝の意見が多く寄せられている。								
	今後の予測		全体の利用人数は横ばいである。利用内訳は、研修目的は減少し、区民利用は増加の傾向にある。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		教育研究奨励				整理番号	860		細番号				
所属部課名	教育委員会事務局指導室			コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	887			
係名	管理				上位施策名				NO				
予算事業名	教育活動の推進			コード	73400	豊かな学校教育づくり				53			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 年度				(1) 学校教育法第18条、第36条								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立小・中学校教員				(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条								
					(3) 杉並区教育研究奨励実施要綱								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 当面する教育課題についての調査研究				活動指標名(式) (1) 研究実施校 (2)								
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 当面する教育課題についての調査研究することにより、教員の指導力向上につながる。				成果指標名(式) (1) (代)研究実施校 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 教員の指導力が向上することで、より高い指導を児童生徒に提供できる。													
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		校	75	75	75	75	75	75				
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		校	75	75	75	75	75	75			100.0	
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41,695	45,511	41,195	43,903	43,551					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722	2,722	2,722	2,722	2,722				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	44,417	48,233	43,917	46,625	46,273					
	単位あたりコスト ÷		円	592,225	643,105	585,559	621,665	616,972					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	44,417	48,233	43,917	46,625	46,273						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		教育課程がより複雑化する傾向にある。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)												
	今後の予測		平成14年度から新教育課程が実施され、今まで以上に教員の能力向上が求められる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水泳指導			整理番号	861		細番号			
所属部課名	教育委員会事務局指導室			コード	600501		連絡先電話番号	1652			
係名				上位施策名			NO	888			
予算事業名	水泳指導			コード	73400		昨年度整理番号	888			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成		年度				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他						(1) 学校教育法第18条、第36条				
	学校						(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条				
							(3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名(式)				
学校課内活動における水泳指導において、教員のサポートや児童・生徒に直接指導を行い、安全管理に従事している。						(1) 1学年あたりの水泳補助員配置数(延)					
						(2) 1校あたりの夏季休業中水泳指導員配置数(延)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名(式)					
小学校の水泳の授業や小・中・養護学校における夏季休業中の水泳指導において補助員・指導員を配置する。それにより、水泳指導中の安全確保につなげる。						(1) 水泳補助員配置小学校数					
						(2) 夏季休業中水泳指導員配置校数(小・中・養護学校全校)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
学校課内活動における水泳指導が円滑に且つ安全に行われる。また、安全に水泳指導を行える環境を整備し、水泳を通じて児童・生徒の体力の向上等につなげる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		14年度			
指標	活動指標(1)		人	10	10	10	15	15	20	75.0	
	活動指標(2)		人	30	30	30	30	30	30	100.0	
	成果指標(1)		校	40	40	40	40	40	44	90.9	
	成果指標(2)		校	64	61	68	55	68	68	80.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,504	10,724	15,207	11,022	14,851	16,000	68.9	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	18,319	12,539	17,022	12,837	16,666			
	単位あたりコスト ÷		円	1,831,860	1,253,860	1,702,160	855,773	1,111,040			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	18,319	12,539	17,022	12,837	16,666				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		少子化による児童・生徒数の減少。夏季休業中の水泳指導が課外活動から課内活動へ扱いが変わった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		教員数が減少傾向にあることや、少子化によるクラス数減少による2クラス以下の学年の増加に伴い、水泳補助員(授業中)の必要性が更に高まっていくと見込まれる。ただし、夏季休業中の水泳指導については、学校開放プールへ移行する学校が増えていき、実績が減っていくと見込まれる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		中学校課外クラブ			整理番号	862		細番号			
所属部課名	教育委員会指導室		コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	889		
係名					上位施策名	NO					
予算事業名	教育活動の推進		コード	73400	豊かな学校づくり				53		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成	年度					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	中学校						(1) 学校教育法第18条、第36条 (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条 (3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					活動指標名(式)					
	中学校の課外クラブの実施に必要な内部指導員（教員）を配置する。また、指導員の不足を補い、より一層の安全を図るため外部指導員を設置する。					(1) 課外クラブ指導員数 (2)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）					成果指標名(式)						
指導員の自覚を高め、質の高い指導が行われるようになる。また、課外クラブにおいて安全管理の確保がされるようになる。					(1) 内部指導員配置数(課外クラブ実施校数) (2) 外部指導員配置校数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 課外クラブ活動が円滑に且つ安全に行われる。また、外部講師の協力を得ていることで、より質の高い指導を生徒に与えることができる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		人	2567	2426	3221	2313	3566	4000	57.8	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		校	23	23	23	23	23	23	100.0	
	成果指標(2)		校	21	21	23	21	23	23	91.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,835	10,724	12,113	10,434	12,872	14,000	74.5	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	12,196	12,085	13,474	11,795	14,233			
	単位あたりコスト ÷		円	4,751	4,981	4,183	5,099	3,991			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	12,196	12,085	13,474	11,795	14,233				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		課外クラブの必要性に対する考え方の変化(平成12年度から必修ではなくなった。社会教育への移行)。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		部活動を存続させるため、また、技術指導を充実させるために外部指導員をより多く導入してほしい。								
	今後の予測		生徒数の減少や必修から外れたことで、クラブの数が減少すると見込まれる。また、必修から外れたことで内部指導員(教員)の引き受け手が少なくなると考えられる。ただし、必修から外れたとしてもクラブ活動を行いたいという生徒の意志を尊重するために、専門知識を有する外部講師へ協力を依頼するケースが今後ますます増えると考えられる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		スポーツ教室・音楽教室				整理番号	863		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	890, 891	
係名				上位施策名				NO			
予算事業名				教育活動の推進		コード	73400		豊かな学校づくり		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 学校教育法第18条、第36条				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				小学校		(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				スポーツ教室及び音楽教室は中学校の部活動に相当するものである。スポーツ教室を円滑で安全に行うため、内部指導員(教員)が児童の指導を行い、安全管理に従事する。また、音楽教室も教室を円滑に行うため内部指導員が指導を行う。また、より質の高い指導を行うため外部指導員による指導も実施している。		活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				学校がスポーツ教室や音楽教室を積極的に実施し、より多くの児童のスポーツ精神や情操を育むことで、豊かな学校づくりの足がかりとする。		成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				教室を通してスポーツや音楽に触れることで、生徒の体力の向上・スポーツ精神や音楽的な情操を養い、健全な児童の発達へつなげる。							
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		17	年度		
指標	活動指標(1)		校	34	29	44	18	44	44	40.9	
	活動指標(2)		校	13	13	20	11	20	30	55.5	
	成果指標(1)		%	77.2	65.9	100	40.9	100	100	38.8	
	成果指標(2)		%	29.5	29.5	45.5	25	45.5	45.5	95.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	583	1,596	1,432	973	1,432	1,432		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.03	0.05	0.05	0.05	0.05	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	272	454	454	454	454		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	855	2,050	1,886	1,427	1,886			
	単位あたりコスト ÷		円	25,153	70,678	42,856	79,258	42,856			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	855	2,050	1,886	1,427	1,886				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		指導を行う教員の数が減少傾向にある。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし								
	今後の予測		スポーツ教室は、学業優先志向が高まり、児童が授業中の体育以外に運動する機会というのは年々減少すると考えられる。特にこの事業は、放課後や週休日に実施されるため、塾など勉強する方を優先されてしまい、教室参加者を確保することが困難になると見込まれるが、音楽教室は各校での年間成果の発表の場として年度末に音楽発表会を実施しており、児童も指導者も成果を試す場があるということで、高いモチベーションを維持して教室を行っている。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		音楽鑑賞教室				整理番号	865		細番号						
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501		連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	892				
係名					上位施策名					NO					
予算事業名					教育活動の推進		コード	73400		豊かな学校づくり			53		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成		年度		(1) 学校教育法第18条、第36条						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				小学校5・6年生、中学校1・2年生		(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条								
									(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名(式)								
	年1回音楽鑑賞教室を実施する。						(1) 開催回数 (2) 参加学校数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名(式)									
音楽を通じて児童生徒の情操を高める						(1) 小学校・中学校全校(67校) (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
児童・生徒の健全育成につながり、豊かな学校づくりに役立つ。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績		計画			年度	
指標	活動指標(1)		回	9		9		7		7		7		100.0	
	活動指標(2)		校	67		67		67		67		67		100.0	
	成果指標(1)		校	67		67		67		67		67		100.0	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,000		9,150		6,150		6,000		6,150			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.02		0.02		0.02		0.02		0.02		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	181		181		181		181		181		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	9,181		9,331		6,331		6,181		6,331			
	単位あたりコスト ÷		円	1,020,162		1,036,829		904,494		883,066		904,494			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	9,181		9,331		6,331		6,181		6,331				
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		オーディオ機器の一般家庭への普及により、ジャンルを問わず家庭で音楽を聴くことが日常的となった。その反面、生で演奏を聴く機会は減ってきている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)														
	今後の予測		クラシックは難しいものとしてとらえられてきたが、近年、映画やドラマ等のサントラに用いられることが多くなり、クラシックが身近なものとなってきている。今後も同様の傾向が続くと予測され、児童や生徒のクラシックに対する興味も高まっていくと考えられる。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		外国人英語指導			整理番号	866		細番号		
所属部課名	教育委員会事務局指導室			コード	600501		連絡先電話番号	1652		
係名	管理			上位施策名	NO					
予算事業名	教育活動の推進			コード	73400		昨年度整理番号	893		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		8年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 学校教育法第18条、第38条				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条						
	区立中学校生徒				(3) 外国人英語教育指導員実施要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)					
	英語を母国語とする在日の外国人を区立中学校に配置し、英語担当教員の補助をする。				(1) 英語指導員配置時間 (2)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)						
各学校の英語の授業が充実する。				(1) (代)英語指導員配置時間 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
英語教育が充実することで、積極的に授業に参加する生徒が増える。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		時間	3270	2951	2942	2854	3024		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		時間	3270	2951	2942	2854	3024		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,184	21,218	20,594	20,226	21,651		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	454	454	454	454	454		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	23,638	21,672	21,048	20,680	22,105		
	単位あたりコスト ÷		円	7,229	7,344	7,154	7,246	7,310		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	23,638	21,672	21,048	20,680	22,105			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		「聞くこと」、「話すこと」を中心とするコミュニケーション能力の向上が英語教育に求められるようになった。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		会話や発音の指導を充実した英語の授業が求められるようになり、外国人英語指導員の役割は大きくなっていく。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		帰国児童生徒教育				整理番号	867		細番号					
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501		連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	894			
係名 管理				上位施策名				NO						
予算事業名 教育活動の推進				コード	73400		豊かな学校教育づくり				53			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 4 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 学校教育法第18条、第36条									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立小・中学校児童生徒				(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区立小・中学校における国際理解教育を推進し、海外から帰国する児童生徒に対する教育の充実させる。				(3) 杉並区国際理解・帰国児童生徒教育センター事業運営要綱									
	活動指標名(式) (1) 指導を受けた児童生徒数 (2)				成果指標名(式) (1) (代)指導を受けた児童生徒数 (2)									
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 杉並区立小・中学校における国際理解教育を推進し、海外から帰国する児童生徒に対する教育を充実させる。				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 小・中学校での国際理解教育を推進することで、豊かな学校教育づくりが可能になる。										
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		人	116		91		120		102		120		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		人	116		91		120		102		120		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,516		2,641		6,755		6,332		6,755		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05	2.00	0.05	2.00	0.05	2.00	0.05	2.00	0.05	2.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	454		454		454		454		454	
		非常勤職員分		千円	5,878		5,878		5,878		5,878		5,878	
	総事業費 + +		千円	13,848		8,973		13,087		12,664		13,087		
	単位あたりコスト ÷		円	119,376		98,601		109,055		124,153		109,055		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 + +		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	13,848		8,973		13,087		12,664		13,087			
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		帰国児童生徒を対象にした施策より、外国人児童生徒を対象にした施策への需要が増加している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)													
	今後の予測		国際化の進展に伴い、区立の小・中学校でも外国児童生徒数が増加している。今後の学校教育は、広い視野を持って自国の文化や異国の文化を理解し、異なる習慣を持った人々と共に生きていく能力が必要となる。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		海外派遣・親善訪問団受入				整理番号	868		細番号								
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501		連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	895						
係名				上位施策名						NO							
予算事業名				教育活動の推進		コード	73400		豊かな学校づくり			53					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				5年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有				平成		(1)										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(2)										
	杉並区海外派遣団（構成：生徒及び引率教員）、ウィロビー市親善訪問団（構成：生徒及び引率教員）						(3)										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名(式)										
	海外派遣と受入を隔年で実施。ウィロビー市へ中学生を派遣し、現地でホームステイ、体験入学等を行う。また、ウィロビー市からの親善訪問団が区内の中学生の家庭へホームステイ、体験入学等を行う。						(1) ウィロビーへの派遣日数 (2) 訪問団滞在日数										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名(式)											
友好都市であるウィロビー市の交流を深め、お互いの土地を理解する。同世代の生徒と交流を深める。						(1) 派遣生徒数 (2) 訪問団員数											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																	
海外における生活や学習などの直接体験を通して、豊かな人間性を培い、国際社会において尊敬と信頼の得られる生徒の育成をする。また、海外からの生徒に本校を紹介するために、各生徒が自分の学校を見つめ直し、良いところを見つけようと心がけるため、愛校心が培われ、豊かな学校づくりのきっかけにつながる。																	
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
							計画		実績		16年度						
指標	活動指標(1)		日	11		0		9		9		0		0	100.0		
	活動指標(2)		日	0		3		0		0		3		0	100.0		
	成果指標(1)		人	30		0		30		29		0		30	96.0		
	成果指標(2)		人	0		27		0		0		20		0	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,045		648		7,095		4,992		628					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60		0.20		0.00		0.60		0.20		特記事項 海外派遣と受入は隔年で交代に実施している。			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,444		1,815		0		5,444		1,815				
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0				
	総事業費 ++		千円	12,489		2,463		7,095		10,436		2,443					
	単位あたりコスト ÷		円	1,135,345				788,333		1,159,533							
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都からの支出金		千円													
		その他特定財源		千円													
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	12,489		2,463		7,095		10,436		2,443						
受益者負担比率 ÷		%															
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		国際化に伴い、異文化をより深く理解する必要が出てきている。														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし														
	今後の予測		今後ますます国際化が進んでいくと考えられ、学校における“国際理解”が重要視されてくると見込まれる。また、インターネット等で海外の情報が容易に得られるようになり、生徒の海外への興味関心は年々高まっていくと考えられる。														

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		各種委員会活動				整理番号	869		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	896	
係名				上位施策名				NO			
予算事業名				教育活動の推進		コード	73400		豊かな学校づくり		53
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成		年度				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	小・中学校										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				各委員会において掲げるテーマに取り組み、検討した結果を報告書としてまとめ、各学校に配布をし、授業等で指針として活用する。また、副読本の作成を目的とした委員会を組織し、内容の検討・見直しを図る。当該委員会については、内容の大幅な変更がある年度のみ委員会を開催する。						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				多様化する教育課題に対し、テーマ別に委員会を組織し集中して検討した結果を報告書・副読本にし、各学校でそれを活用することで、問題解決や授業における有効な資料として活用する。						
<p>意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか</p> <p>杉並区オリジナルの副読本を用いた授業を行うことで、教科書に記載のない杉並区のことについて学ぶことができ、児童・生徒が授業の習熟のみならず、杉並区についての豊かな知識を養うことができる。</p>											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		部	62450	60080	64900	57630	62770	29000	100.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		校	68	68	68	68	68	68	100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,118	5,883	5,892	5,531	4,790			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.10	0.10	0.07	0.07	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	907	907	635	635		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	7,933	6,790	6,799	6,166	5,425			
	単位あたりコスト ÷		円	127	113	105	107	86			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	7,933	6,790	6,799	6,166	5,425				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		社会を取り巻く諸問題の深刻化・複雑化								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし								
	今後の予測		教育に関する諸問題が年々増加すると考えられる。各学校での懸案事項について、各委員が委員会に持ち寄り集中的に検討していくことが益々必要となってくる。また、その成果に対する期待が高まっていくと見込まれる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		不登校対策事業				整理番号	870		細番号	1			
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501		連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	897		
係名				上位施策名						NO			
予算事業名				教育活動の推進		コード	73400		多様な教育機会の提供			57	
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等					
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		小・中学校		(1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条 (2) スクールカウンセラー活用調査研究委託実施要項 (3) 「心の教室相談員」活用調査研究委託実施要項					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)							活動指標名(式)					
	不登校児童生徒への相談の実施、適応指導教室の設置							(1) ふれあいフレンド人数 (2) 適応指導教室数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)							成果指標名(式)						
学校不適應や、心に悩みを持つ児童生徒を早期発見に協力する。不登校児童生徒を学校復帰させるための臨時施設を設置する。							(1) ふれあいフレンドの月あたりの平均活動人数 (2) 適応指導教室入室人数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 本事業は学校復帰し、通常の学校活動を行ってもらうことを目標として、相談の実施や適応指導教室の開設を行っている。施策意図のとおり教育機会を提供している。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		13年度					
指標	活動指標(1)		人			10	11	10					
	活動指標(2)		教室			1	1	2	2	50.0			
	成果指標(1)		人			5	5	5					
	成果指標(2)		人			20	33	40					
総事業費・コスト把握	事業費		千円			28,873	25,112	28,650					
	職員数(正規 非常勤)		人			0.30	6.00	0.30	6.00	0.30	9.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,722	2,722	2,722	特記事項 13年度計画には、第二適応指導教室開設経費を含む。			
		非常勤職員分		千円	0	0	17,634	17,634	26,451				
	総事業費 ++		千円	0	0	49,229	45,468	57,823					
	単位あたりコスト ÷		円			4,922,890	4,133,445	5,782,290					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円			24,332	21,668	22,524				
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	24,332	21,668	22,524				
差引:一般財源 -		千円	0	0	24,897	23,800	35,299						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区の独自事業である「ふれあいフレンド(個人別巡回相談)」「スクールサポート(学校別相談)」「さきんか教室(適応指導教室)」に加え、平成9年度からは文部省の「スクールカウンセラー(学校配置)」が、平成10年度からは文部省「心の教室相談員(学校配置)」と東京都の「スクールカウンセラー(学校配置)」が数校で期限付きで導入されており、済美教育相談所の相談業務も含め、不登校対策が多様化してきてい										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		適応指導教室の入室条件は区立中学校生徒もしくは本区在住の中学生となっているが、入室の問い合わせが区民以外からもある。										
	今後の予測		不登校や学校不適應の内容、理由が複雑化していくと考える。具体的な人数を述べることはできないが、児童生徒数の減少傾向に逆行して不登校数、適応指導教室入室数の増加も考えられる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指導室運営事務			整理番号	870		細番号	2		
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501		連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	
係名				上位施策名				NO			
予算事業名				教育活動の推進		コード	73400		多様な教育機会の提供		57
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成		年度		(1)		
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				指導室		(2)				
							(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				指導室内の管理		活動指標名(式)				
							(1) 指導室職員、非常勤職員、指導主事				
						(2)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)						成果指標名(式)					
						(1)					
						(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	人	15	16	16	16	17				
	活動指標(2)	人									
	成果指標(1)	人									
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円			1,387	1,469	1,450				
	職員数(正規 非常勤)	人			0.10	0.10	0.10	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	907	907	907			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	0	0	2,294	2,376	2,357				
	単位あたりコスト ÷	円	0	0	143,394	148,519	138,665				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	0	0	2,294	2,376	2,357					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成11年度から非常勤職員を配置。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。									
	今後の予測	事業数の増加、各種調査等により、用紙消費量、コピー利用量が増加する。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		教育課程編成委員会				整理番号	872		細番号		
所属部課名	教育委員会事務局指導室			コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	898	
係名 管理					上位施策名				NO		
予算事業名 教育活動の推進					コード	73400		豊かな学校教育づくり			53
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13年度				(1) 学校教育法第18条、第36条						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立小・中学校教員				(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区立小・中学校における教育課程の内容と編成、各教科領域等の実態と問題及び将来のあり方を検討し、スムーズに新教育課程に移行できるようにする。				活動指標名(式)						
					(1) 新教育課程・総合的な学習の時間の手引き作成部数 (2) 新教育課程編成委員会開催回数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 各学校での新教育課程への対応が適切に行えるようにする。				成果指標名(式)							
				(1) 手引きを配布した学校数 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 学校教育活動の充実・向上											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		冊	0	1520	3800	3800	802			
	活動指標(2)		回	0	4	4	4	4			
	成果指標(1)		校	0	68	75	75	75			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	1,424	1,122	967	1,122			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.01		0.01		0.01		特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	91	91	91	91			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	1,515	1,213	1,058	1,213			
	単位あたりコスト ÷		円	0	997	319	278	1,512			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	1,515	1,213	1,058	1,213				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成14年度から新教育課程が実施されるため、創意工夫を生かした特色ある学校づくりが可能になる。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		平成14年度から新教育課程が実施されるため、本事業は平成13年度で終了となる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		教科用図書採択事務				整理番号	873		細番号	
所属部課名		教育委員会指導室		コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	
係名 管理					上位施策名				NO	
予算事業名 教育活動の推進					コード	73400		豊かな学校教育づくり		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立小・中学校教員及び区民				(2) 杉並区立小・中学校教科用図書採択要綱					
					(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 小・中学校で使用する教科書の調査研究し、採択する。				活動指標名(式) (1) 教科用図書選定審議会開催回数 (2) 教科用図書展示会来場者数					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 教育委員会での採択が円滑に行えるようにする。				成果指標名(式) (1) (代)教科用図書選定審議会開催回数 (2) (代)教科用図書展示会来場者数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 小・中学校、児童・生徒に適切な教科書を採択することで、豊かな学校教育が可能になる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回			4	4	4		
	活動指標(2)					100	101	1000		
	成果指標(1)					4	4	4		
	成果指標(2)					100	101	1000		
総事業費・コスト把握	事業費		千円			348	69	220		
	職員数(正規 非常勤)		人			0.13	0.13	0.13	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,179	1,179	1,179		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	1,527	1,248	1,399		
	単位あたりコスト ÷		円			381,873	312,123	349,873		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	1,527	1,248	1,399			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度から、採択事務が区に移管された。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		採択制度の透明性を高める要望が多い。							
	今後の予測		採択事務は、4年に1回実施される。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成績一覧表調査委員会				整理番号	874		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号			
係名				上位施策名				NO				
予算事業名				教育活動の推進		コード	73400		豊かな学校教育づくり			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 平成12年度東京都立高等学校等入学者選抜実施要綱 (2) 東京都教育委員会の事務処理の特例に関する条例 (3) 平成12年度特別区事務処理特例交付金交付要綱				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		成績一覧表調査委員会及び委員						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
	東京都立高等学校等入学者選抜実施要綱に基づき成績一覧表の調査を行う。				(1) 成績一覧表調査委員該当者数 (2)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
円滑に成績一覧表を作成する。				(1) 成績一覧表調査委員として作業した人数 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 東京都立高等学校入学者選抜出願に関する手続きが行える。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人			23	23	23					
	活動指標(2)	人										
	成果指標(1)	人			23	23	23					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円			78	77	78					
	職員数(正規 非常勤)	人			0.01	0.01	0.01	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	91	91	91	都費執行委任制度廃止に伴う予算計上事業。都支出金があるが、特別区事務処理特例交付金に含まれているため金額不明。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	0	0	169	168	169					
	単位あたりコスト ÷	円			7,336	7,293	7,336					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -	千円	0	0	169	168	169						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年度から都費執行委任制度が廃止され、予算化が必要となった。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。										
	今後の予測	「東京都立高等学校等入学者選抜実施要綱」が改定され、選抜方法が変わるか、「東京都教育委員会の事務処理特例に関する条例」が改定され、事務処理方法が改定されない限りは継続する事業である。また事業規模は、委員会は区立中学校長をもって組織されることから、区立中学校数に増減がない限りは大きな変更はないと考える。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		情報教育の推進				整理番号	878		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局指導室		コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号	902	
係名 管理					上位施策名				NO		
予算事業名 情報教育の推進					コード	74000		豊かな学校教育づくり			53
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				62 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 杉並区立学校におけるインターネット利用の基準				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
	区立小中学校の児童生徒				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)					
	コンピュータの維持管理、学校からの申請に基づく教育用ソフトウェアの購入。年次計画による新機種への更新。インターネット接続の維持管理委託。					(1) 機器更新済校数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)						
情報機器を活用できる能力の育成。情報処理能力の向上。					(1) (代)機器更新校数						
					(2) (代)インターネット接続校数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
インターネットへの接続、コンピュータ機器等の整備を進めることにより、社会の変化に対応した学校教育の推進に貢献している。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		17 年度			
指標	活動指標(1)		校	22	22	21	21	2	68	100.0	
	活動指標(2)		校	0	6	6	6	68	68	100.0	
	成果指標(1)		校	22	22	21	21	2	68	100.0	
	成果指標(2)		校		6	6	6	68	68	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	75,742	98,088	162,662	131,785	203,995			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.84	0.84	0.84	0.95	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	7,621	7,621	7,621	8,619		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	80,279	105,709	170,283	139,406	212,614			
	単位あたりコスト ÷		円	3,649,023	4,804,969	8,108,730	6,638,396	106,307,175			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	80,279	105,709	170,283	139,406	212,614				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		情報技術の急速な発達によりコンピュータの活用範囲が拡大してきた。文部省の第1次コンピュータ整備計画では、H6までに小学校3台、中学校22台を整備することになっていたが、第3次整備計画ではH17までに小学校42台、中学校42台を整備し、H13までに全小中学校がインターネットに接続できるように計画を進めている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		コンピュータを使った授業を増やしていくことを期待している。								
	今後の予測		インターネット接続、構内LANの整備等の情報処理教育面での拡大が予想され、予算の増加が見込まれる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		パソコン教室の一般開放				整理番号	879		細番号		
所属部課名	教育委員会事務局指導室			コード	600501	連絡先電話番号	1652		昨年度整理番号		
係名 管理					上位施策名				NO		
予算事業名 情報教育の推進					コード	74000		地域への学校開放			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1)						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住者、在勤者、在学者				(2)						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） パソコン室のコンピュータ機器を学校の授業に支障の出ないよう にして区民が利用できるように整備する。				活動指標名(式) (1) パソコン教室開放校数 (2)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） パソコン室のコンピュータ機器を区民が利用できるように整備 する。				成果指標名(式) (1) (代)パソコン教室開放校数 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか パソコン室を区民の利用できるように整備することにより、区民が学校を身近な公共施設として利用できるようになり地域における 生涯学習の場や地域活動の拠点とすることができる。											
区分		単位	10年度 実績	11年度 実績	12年度		13年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する12年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		校			4	4	4	44	100.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		校			4	4	4	44	100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・ コスト把握	事業費		千円			3,872	4,143	6,122			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.33	0.33	0.22	特記事項		
	人 件 費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,994	2,994	1,996			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	6,866	7,137	8,118			
	単位あたりコスト ÷		円			1,716,523	1,784,273	2,029,515			
	財 源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	6,866	7,137	8,118				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を 取り 巻く 環境	開始当初から現在までの変化		区民の情報学習ニーズに応えとともに区民の情報格差解消のため、コンピュータを利用できる施設を増やす必要がある。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)		初級講座を終わった利用者から次の講座の開催要望があった。								
	今後の予測		パソコン教室のパソコンは初級者向けの設定にしてあるが、今後は中級以上の人でも使える設定が必要になる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		中学校対抗駅伝大会（21世紀プロジェクト）				整理番号	45		細番号	
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	なし
係名				社会体育係		上位施策名			NO	
予算事業名				なし		生涯学習環境の整備・充実			64	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12年度				(1) スポーツ振興法第7条、第8条					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区内の公立・私立中学校の生徒で構成するチーム				(2)					
					(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 中学校体育連盟が例年実施している「杉並区中学校駅伝競走大会」を、本年に限り名称・コースを変更し、記念事業として区が実施する。				活動指標名(式) (1) 参加者数(補欠選手含む) (2)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか） タスキをつないで走る楽しさと、そこに生まれる連帯感を通じて、青少年の体力向上と健全育成を図る。				成果指標名(式) (1) 参加率(参加校数÷区内中学校数) (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 駅伝大会を通じて、広く区民の間にスポーツを普及・振興させ、区民がスポーツを通じて心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人			410	448			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%			63.6	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,276	3,000			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.34	0.34		特記事項 21世紀プロジェクトは、12年度限りの単年度事業である。13年度は、新世紀の始まりを飾る事業として、同様に実施するよう予算化されている。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	3,085	3,085		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	0	5,361	6,085		
	単位あたりコスト ÷		円				13,075	13,582		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	5,361	6,085			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		中学校体育連盟が例年実施している「杉並区中学校駅伝競走大会」は、中学校総合体育大会の陸上競技大会の1競技である。中学校総合体育大会は、陸上競技をはじめ全部で14種目ある。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		中学生の走る姿に感動した等							
	今後の予測		区の財政が危機的状況にある現在、こうした巨額の費用を投入した事業の開催は難しいものになると考えられる。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会教育委員の会議				整理番号	924		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1662		昨年度整理番号	942	
係名 管理係				上位施策名				NO			
予算事業名 社会教育委員				コード	80600		生涯学習環境の整備・充実			64	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 社会教育法第13～18条						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 社会教育行政全般に広く地域の意見等を反映させるための諮問機関。				(2) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例 (3) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例施行規則						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 社会教育団体への補助金交付に対する意見を述べる。教育委員会の諮問に応じ意見を述べる。建議・提言など教育委員会への意見を述べる。				活動指標名(式) (1) 会議開催回数 (2)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 社会教育に関する諸計画を立案する。教育委員会の諮問に応じ意見を述べ、社会教育関係団体・社会教育指導者に対し、意見と指導と助言を与え生涯学習・社会教育の振興を図る。				成果指標名(式) (1) 施策の実現数 ÷ 社会教育委員の提言における施策数 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 多くの区民が社会教育活動にかかわり、積極的に地域社会に参加していくことにより、豊かな生涯学習社会を築いていく。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		18年度			
指標	活動指標(1)		回	11	9	9	9	9	9	100.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	60	60	100	60	100	100	60.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,792	1,324	2,198	891	2,198			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	0.80	0.70	0.75	0.70	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,258	6,351	6,805	6,351			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,050	8,582	8,549	7,696	8,549			
	単位あたりコスト ÷		円	822,764	953,600	949,900	855,083	949,900			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	9,050	8,582	8,549	7,696	8,549				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		生涯学習時代の到来を受けて、区民の社会教育に対するニーズも多様化していき、社会教育に関する行政の役割の重要性が増している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		区民に、社会教育委員の活動や提言が十分に情報提供されていない。								
	今後の予測		平成14年度から学校完全週5日制が実施され、学校教育と社会教育の連携が、より一層重要になる。また、社会教育法の改正を踏まえ、より家庭教育の振興をめざした会議運営を図るため、委員の選出方法等を検討するとともに、社会教育委員活動の活性化を図る必要がある。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生涯学習の推進				整理番号	926		細番号	1	
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	944	
係名 管理係					上位施策名				NO		
予算事業名 生涯学習の推進					コード	81000			生涯学習環境の整備・充実		64
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 7 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 教育基本法第7条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 自主的に生涯学習活動している区民及び区内団体				(2) 社会教育法第3・5・44条						
					(3) 杉並区生涯学習振興室要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 会議室(西田2室・杉九3室)個人学習室(西田1室・杉九1室)の維持運営				活動指標名(式)						
					(1) 会議室利用回数						
				(2) 個人学習室利用者数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 学校の余裕教室を有効活用し、各種学級・講座を実施し、区民に身近な生涯学習活動の場と機会を提供する。				成果指標名(式)							
				(1) 会議室利用率							
				(2) 個人学習室利用者数 ÷ 個人学習室席数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民の自主的な学習活動を支援することで、生涯学習の振興に貢献する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		18年度	年度		
指標	活動指標(1)		回	1,209	1,241	1,250	1,420	1,420	1,450	1.0	
	活動指標(2)		人	23,264	29,564	30,000	26,445	27,000	30,000	0.9	
	成果指標(1)		%	28	28	29	33	33	34	1.0	
	成果指標(2)		%	98	124	126	111	114	126	0.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,689	18,631	17,253	16,937	17,253	18,000	0.9	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70	0.70	0.70	0.64	0.60	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,351	6,351	6,351	5,807	5,444			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	25,040	24,982	23,604	22,744	22,697			
	単位あたりコスト ÷		円	20,711	20,131	18,883	16,017	15,984			
	財源	受益者負担分		千円	141	108	108	86	108		
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 + +		千円	141	108	108	86	108		
差引: 一般財源 -		千円	24,899	24,874	23,496	22,658	22,589				
受益者負担比率 ÷		%	0.6	0.4	0.5	0.4	0.5				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業展開と場の提供をすることになっているが、会議室・個人学習室の場の提供のみの事業になっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		通年開館。パソコンなど機器を使用しての自主的学習活動。西田ゆうゆうハウス自転車駐車場の設置。西田ゆうゆうハウス専用出入口の確保。								
	今後の予測		団体や個人単位の自主的な学習を行う場の需要は今後も増えていく。この学習活動を支援するためにも欠かせない施設である。大阪の小学校内で児童の殺傷事件が起きる等、小学校内での子どもたちの安全を確保することが求められており、学校・地域・施設利用者等と協力しながら、よりよい施設にしていくことが求められてくる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家庭教育学級				整理番号	926		細番号	2		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	960		
係名 管理係				上位施策名				NO				
予算事業名 生涯学習の推進				コード	81000	家庭における教育力の向上				63		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 社会教育法第5条第1・6項							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 家庭教育学級実施要綱							
	区立幼稚園小学校・中学校に在籍する児童、生徒の保護者及び関係者				(3) 家庭教育学級実施要領							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 各実施校と共催して、家庭教育に関する学習の機会として講演会等を開催する。（主催は、区立幼・小・中学校PTA等で、各校1～2回開催）				活動指標名(式) (1) 参加者数 (2) 開催校園数							
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 家庭教育のあり方を学ぶことにより、心身ともに調和のとれた子どもを育成するとともに、親が家庭に閉じこもることなく気軽に集まれる場と機会を提供し、家庭が地域社会に開かれたものとする。				成果指標名(式) (1) 参加者数 ÷ 区立小・中・幼の父母 (2) 開催校園数 ÷ 区立小・中・幼校数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 生涯学習の基礎づくりにつながる家庭・地域社会の実現。家庭教育を通じて子どもの健全育成を図る。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%
							計画	実績			18年度	
指標	活動指標(1)		人	7,524	7,390	7,500	8,193	7,500	7,500	7,500	109.2	
	活動指標(2)		校園	65	61	75	63	75	75	75	82.6	
	成果指標(1)		%	30	30	30	33	30	30	30	110.0	
	成果指標(2)		%	87	81	100	84	100	100	100	84.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,236	2,909	3,011	2,485	3,011	3,000	82.5		
	職員数(正規・非常勤)		人	0.20	0.45	0.20	0.45	0.15	0.80	0.15	0.80	特記事項 11年度まで担当は社会教育センター
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,815	1,361	1,452	1,361				
		非常勤職員分	千円	1,323	1,323	2,351	2,351	2,351				
	総事業費 ++		千円	6,373	6,046	6,723	6,288	6,723				
	単位あたりコスト ÷		円	847	818	896	767	896				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	6,373	6,046	6,723	6,288	6,723					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		少子化、核家族化など、家庭を取り巻く社会環境がもたらす子育ての不安や悩みが顕著となり、社会全体での家庭教育や子育て支援が求められている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		開催回数及び開催分担金の増。他校PTAとの合同実施。									
	今後の予測		教育改革に伴う法律改正等により、家庭教育や子育ての支援を強化することが求められており、区内の他施設・施策との連携の中で、より充実されることが望まれる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		P T A 活動育成				整理番号	926		細番号	3							
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	962							
係名 管理係				上位施策名				NO									
予算事業名 生涯学習の推進				コード	81000	学校運営への参画				61							
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業												
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 社会教育法第5・12条												
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区立小学校・中学校在籍児童、生徒の保護者及び学校関係者				(2) 杉並区立小学校PTA連合協議会補助金交付要綱												
					(3) 杉並区立中学校PTA協議会補助金交付要綱												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） P T A 委員、役員の研修会の実施。小・中学校 P T A への補助金の支出。P T A に対する学習支援。（基礎研修会11回、他各種研修会35回）				活動指標名(式)												
					(1) P T A 基礎研修会参加者数												
				(2)													
意図（対象をどのような状態にしたいのか） P T A 委員、役員の研修会を実施し、子どもの健全な育成を目指す P T A 活動の円滑な運営を図るため、P T A の学習活動を支援する。				成果指標名(式)													
				(1) P T A 基礎研修会参加者数 ÷ 会員数													
				(2) P T A 活動している学校数													
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 生涯学習の基礎につながる家庭・地域社会の実現。家庭・地域・学校の連携を深める。																	
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%					
							計画	実績			18年度						
指標	活動指標(1)		人	2,233	2,448	2,500	2,665	2,500	2,500	106.6							
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		%	9	9	10	10	10	10	100.0							
	成果指標(2)		校	68	68	68	68	68	68	100.0							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,209	1,951	1,479	1,791	1,479	1,450	121.0							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.90 1.40	0.90 1.40	0.90 1.40	0.91 1.40	0.85 1.40	特記事項								
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,166	8,166	8,166	8,256	7,712	11年度まで担当は社会教育センター								
		非常勤職員分	千円	4,115	4,115	4,115	4,115	4,115									
	総事業費 ++		千円	14,489	14,231	13,759	14,162	13,306									
	単位あたりコスト ÷		円	6,489	5,813	5,504	5,314	5,322									
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都からの支出金		千円													
		その他特定財源		千円													
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0					0				
差引:一般財源 -		千円	14,489	14,231	13,759	14,162	13,306										
受益者負担比率 ÷		%															
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		子どもの健全育成以外にも、学校運営や地域振興など家庭・地域・学校の連携に、P T A が不可欠な存在になっている。														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		現在、区では各課個別事案毎に P T A に対する情報提供・協力要請が行われているため、P T A 役員の負担感が増している。P T A が自主的活動を行うことの前、行政のプログラムに振り回されている。														
	今後の予測		2002年の学校週5日制や通学区域の弾力化に向けて、子どもの健全育成とともに、地域や学校・家庭との連携を目指すために、P T A の役割は非常に大きい。今後は、P T A と学校・行政が信頼関係のもとに今まで以上に連携を強化する必要がある。														

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		情報通信技術 (IT) 学習推進				整理番号	927		細番号																																																																																																																																																																			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1678		昨年度整理番号																																																																																																																																																																			
係名		パソコン講習推進主査			上位施策名			NO																																																																																																																																																																				
予算事業名		生涯学習の推進		コード	81000	生涯学習環境の整備・充実			64																																																																																																																																																																			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等																																																																																																																																																																					
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業																																																																																																																																																																					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 情報通信技術講習実施要綱 (2) (3)																																																																																																																																																																							
	インターネットや電子メールを活用できない20歳以上の都民																																																																																																																																																																											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		IT基礎技能講習を開催するためにパソコン等の整備を行なう。また民間派遣講師、NPO、専修学校等に委託(ボランティア協力を含む)し、区内施設、外部施設約30会場で、IT基礎技能講習を年間約1000講習開催する。																																																																																																																																																																									
活動指標名(式)		(1) IT基礎技能講習用パソコン設置台数 (2) IT基礎技能講習募集人数																																																																																																																																																																										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		情報通信技能を習得することにより、インターネットや電子メールができるようになり、デジタル情報格差が縮小する。																																																																																																																																																																										
成果指標名(式)		(1) パソコン設置台数 / パソコン設置計画数 (2) (代)募集人数 / 区内成人人口(430,444人)																																																																																																																																																																										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 情報通信技能の習得により、生涯学習関連情報の取得が効率的に行える区民が増えることにより、より効率的な生涯学習環境の整備・充実につながる。																																																																																																																																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">10年度実績</th> <th rowspan="2">11年度実績</th> <th colspan="2">12年度</th> <th rowspan="2">13年度計画</th> <th colspan="2">目標値</th> <th rowspan="2">目標値に対する12年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>13年度</th> <th>12年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標(1)</td> <td>台</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>375</td> <td>375</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>活動指標(2)</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>15819</td> <td>15819</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>成果指標(1)</td> <td>%</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>成果指標(2)</td> <td>%</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3.7</td> <td>3.7</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">総事業費・コスト把握</td> <td>事業費</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>66,589</td> <td>66,589</td> <td>143,928</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員数(正規 非常勤)</td> <td>人</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.88</td> <td>1.18</td> <td>2.49</td> <td colspan="2">特記事項</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>職員分(超勤分含む)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7,984</td> <td>10,706</td> <td>22,592</td> <td colspan="2" rowspan="10"> 平成12年度は機器整備を行い、平成13年度に講習を開催する事業計画である。そのため平成13年度の単位数の算出にあたっては、平成12年度実績と平成13年度予定経費の合計額を講習募集人数で除した数値とする。単位数あたりコスト 15,413円 </td> </tr> <tr> <td>非常勤職員分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費 ++</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>74,573</td> <td>77,295</td> <td>166,520</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">単位数あたりコスト ÷</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td>198,862</td> <td>206,120</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源</td> <td>受益者負担分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>国・都からの支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>64,349</td> <td>64,349</td> <td>144,928</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>特定財源計 ++</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>64,349</td> <td>64,349</td> <td>144,928</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>差引:一般財源 -</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,224</td> <td>12,946</td> <td>21,592</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担比率 ÷</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>										区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	計画	実績	13年度	12年度	指標	活動指標(1)	台	0	0	375	375	0	0	100.0	活動指標(2)	人	0	0	0	0	15819	15819	0.0	成果指標(1)	%	0	0	100	100	0	0	100.0	成果指標(2)	%	0	0	0	0	3.7	3.7	0.0	総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	0	66,589	66,589	143,928			職員数(正規 非常勤)	人	0.00	0.00	0.88	1.18	2.49	特記事項		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	7,984	10,706	22,592	平成12年度は機器整備を行い、平成13年度に講習を開催する事業計画である。そのため平成13年度の単位数の算出にあたっては、平成12年度実績と平成13年度予定経費の合計額を講習募集人数で除した数値とする。単位数あたりコスト 15,413円		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	総事業費 ++		千円	0	0	74,573	77,295	166,520			単位数あたりコスト ÷		円			198,862	206,120				財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			国・都からの支出金	千円	0	0	64,349	64,349	144,928			その他特定財源	千円	0	0	0	0	0			特定財源計 ++	千円	0	0	64,349	64,349	144,928			差引:一般財源 -	千円	0	0	10,224	12,946	21,592			受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0		
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%																																																																																																																																																																			
				計画	実績		13年度	12年度																																																																																																																																																																				
指標	活動指標(1)	台	0	0	375	375	0	0	100.0																																																																																																																																																																			
	活動指標(2)	人	0	0	0	0	15819	15819	0.0																																																																																																																																																																			
	成果指標(1)	%	0	0	100	100	0	0	100.0																																																																																																																																																																			
	成果指標(2)	%	0	0	0	0	3.7	3.7	0.0																																																																																																																																																																			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	0	66,589	66,589	143,928																																																																																																																																																																					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.00	0.00	0.88	1.18	2.49	特記事項																																																																																																																																																																				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	7,984	10,706	22,592	平成12年度は機器整備を行い、平成13年度に講習を開催する事業計画である。そのため平成13年度の単位数の算出にあたっては、平成12年度実績と平成13年度予定経費の合計額を講習募集人数で除した数値とする。単位数あたりコスト 15,413円																																																																																																																																																																			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																				
	総事業費 ++		千円	0	0	74,573	77,295	166,520																																																																																																																																																																				
	単位数あたりコスト ÷		円			198,862	206,120																																																																																																																																																																					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																				
		国・都からの支出金	千円	0	0	64,349	64,349	144,928																																																																																																																																																																				
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																				
		特定財源計 ++	千円	0	0	64,349	64,349	144,928																																																																																																																																																																				
差引:一般財源 -		千円	0	0	10,224	12,946	21,592																																																																																																																																																																					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度は、IT講習を実施するための会場確保、パソコン・周辺機器の購入、インターネット接続環境の整備を行い、IT講習の開催は平成13年度から開始する。																																																																																																																																																																									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		平成13年3月に講習会の募集を開始したところ、約11000人からの応募があった。また、平成13年の第1四半期IT講習受講者のアンケートからは、区民はさらなるステップアップの講習や、ITに限らず、文書作成、表計算、ホームページ作成、デジタルカメラの活用など、様々な種類の講習を望んでいる。																																																																																																																																																																									
	今後の予測		情報通信基礎技能の習得は、国民のデジタル情報格差解消に向けた国の方針であるとともに、今後も区民からのIT講習実施の要望は多い。																																																																																																																																																																									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校開放運営委託及び学校開放施設等維持管理				整理番号	928		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600702		連絡先電話番号	1665				
係名		学校開放係		上位施策名				NO				
予算事業名		学校等開放		コード	81200		地域への学校開放		62			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第44,45,47,48条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第13条							
	区内在住、在勤、在学の個人、並びにそれらの者10名以上で構成される団体。		(3) 杉並区立学校の開放に関する規則									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名(式)									
一般目的外使用のほか、登録団体（約700）に開放する。小中67校のうち25校に利用者団体協議会が有り、その連合体である学校開放連絡協議会に利用調整等を委託。		(1) 全体利用人数										
		(2) 講座開催回数										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名(式)										
学校施設を有効に活用し、スポーツを通じ区民の体力、健康を増進する。文化活動を活発化し区民の生涯学習を広げる。これらが、区民の自主的活動によって行なわれるようにする。		(1) 学校開放連絡協議会に委託した利用調整による利用人数										
		(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
のべ人数で20万人以上の区民が、学校施設を使用し、スポーツ・分化活動を行なっていることは、貢献度が高い。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		17年度	年度				
指標	活動指標(1)	人	537259	576580	580000	560412	580000	650000	86.2			
	活動指標(2)	回	20	21	21	21	21	30	70.0			
	成果指標(1)	人	216769	220690	225000	208650	225000	250000	83.4			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	63,328	71,986	43,846	41,044	46,901	43,000	95.4			
	職員数(正規 非常勤)	人	2.44 2.00	2.44 2.00	2.44 3.00	2.49 2.00	2.44 2.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	22,138	22,138	22,138	22,592	22,138	クラブハウスの立替や校庭照明設備の更新は、行政計画案にあげており、高額の経費を要求するので事業費からは除いてある。			
		非常勤職員分	千円	5,878	5,878	8,817	5,878	5,878				
	総事業費 ++	千円	91,344	100,002	74,801	69,514	74,917					
	単位あたりコスト ÷	円	170	173	129	124	129					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	91,344	100,002	74,801	69,514	74,917					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	開放校数 昭和29年 小学校2校 昭和40年 小中学校50校 昭和61年 小中学校66校 現在 小中学校67校										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学校施設活用についての区民の期待は根強い。しかし、近隣住民が被る騒音等の迷惑との調和が難しい面もあらわれている。施設面ではテニスコートの利用拡大を求める声強いが、学校施設として充実することは困難で苦慮している。										
	今後の予測	学校施設を有効活用したいとする要求は、更に強まると予想される。校庭、体育館等の体育施設の利用は引き続き活発であると考えられる。加えて今後は、パソコン教室、音楽室の利用希望が高まってくると思われる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		小学校校庭開放（遊びと憩いの場開放）				整理番号	929		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	610102	連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	945-2		
係名				学校開放係		上位施策名			NO			
予算事業名				学校等開放		コード	81200		地域への学校開放	62		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		61年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 社会教育法第44,45,47,48条 (2) スポーツ振興法第13条 (3) 杉並区立学校の開放に関する規則	
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉十小学校を除く43小学校及び当該地域 保護者の付き添いのある幼児、児童及び高齢者					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				土日・学校休業日、及び水曜日の午後、小学校の校庭を開放する。開放時には利用者の事故防止、遊具の管理など開放を円滑に行うため有償（一日7440円）で学校開放指導員を配置している。		活動指標名(式)		(1) 利用人数 (2)			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				一般の公園等では、隅に追いやられてしまう幼児・児童がのびのびと遊ぶことができる場を確保する。		成果指標名(式)		(1) 開放校数 (2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 対象を限定しているが、児童・幼児が安心して遊べる場は、民間施設でも無い。従って、継続的な遊び場の開放は、地域に貢献している。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		17年度				
指標	活動指標(1)		人	309,969	325,987	330,000	301,705	330,000	345,000	87.4		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		校	43	43	43	43	43	43	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	44,431	44,206	44,206	39,610	54,000	15,000	264.0		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.60	0.55	特記事項 事業費については、各地域ごとにボランティアが校庭開放指導にあたるように変更することを目標とし、1/3程度で済むようにしたい。			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	4,537	4,537	5,444	4,990				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	48,968	48,743	48,743	45,054	58,990				
	単位あたりコスト ÷		円	158	150	148	149	179				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	48,968	48,743	48,743	45,054	58,990					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		年少人口の推移 昭和61年度 78950人 平成10年度 51778人									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		小学校の校庭開放は遊び場確保対策から始まっており、この事業に対する異論は聞かれない。ただ、中学校(PTA含む)からは、中学生も小学校の校庭開放を利用できるようにして欲しいとの要望あり。しかし、中学生や高校生が来ると幼児や児童が追いやられるようになることから、小学校(PTA含む)側では消極的意見が根強い。また、大阪の池田小学校のような事件に対する安全対策が望まれている。									
	今後の予測		学校週休二日制が来年度から導入される。第2第4土曜日の校庭をそのまま開放するならば、校庭開放の利用人数も増加する可能性がある。しかし、自由遊びの場として単に開放すればよいのか、積極的に何らかの子ども向けの事業を企画して校庭を有効利用する方向を考えるべきなのかが問題となってくる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校開放連合協議会補助金				整理番号	930	細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	610102	連絡先電話番号	1665	昨年度整理番号	946	
係名				学校開放係		上位施策名			NO	
予算事業名				学校等開放		地域への学校開放			62	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		(1) 社会教育法第44,45,47,48条			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 中学校23及び小学校2の計25の利用者団体協議会の連合組織である学校開放連合協議会		(2) スポーツ振興法第13条			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				学校開放連合協議会からの申請に基づき、25利用者団体協議会の全体調整、自主事業等を実施するために必要な事務費・活動費を支払う。		(3) 杉並区立学校の開放に関する規則			
	活動指標名(式)						(1) 助成件数			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				学校開放連合協議会が、利用者団体の自主活動を促進し、かつ自主事業を行うことによって、区民の生涯スポーツ、生涯学習を普及させたい。		成果指標名(式)				
						(1) 活動回数(役員会、広報委員会、総会、交流会、自主事業等)				
						(2) 自主事業参加人数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 学校施設を利用した区民の生涯スポーツ、生涯学習の普及推進として貢献度は大きい。この事業によって、区民自身が新たな生涯学習の発見を期待できる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		17年度		
指標	活動指標(1)		1	1	1	1	1	1	100.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		回	12	13	980	675	980	1100	61.3
	成果指標(2)		人			15000	9417	15000	18000	52.3
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,559	1,481	1,181	1,181	1,181	1,181	100.0
	職員数(正規 非常勤)		人							特記事項 成果指標 12年度から直営で実施してきた個人開放(年のべ約1000回、のべ参加人数約16000人)を学校開放連合協議会の自主事業に変更
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	1,559	1,481	1,181	1,181	1,181		
	単位あたりコスト ÷		円	1,559,000	1,481,000	1,181,000	1,181,000	1,181,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	1,559	1,481	1,181	1,181	1,181			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		学校開放連合協議会への補助金については、平成9年度まで事務局員人件費約300万円を助成していたことから、事務局経費について社会教育委員の会から疑問が出され、10年度から専属事務局員を廃止(学校開放係が事務を吸収)。							
	今後の予測		学校開放連合協議会、各学校利用者団体協議会は、利用者の自主的組織であるが、今後は、利用者としての立場だけではなく、一般区民に生涯スポーツ・生涯学習の機会を提供する役割が期待されるようになる。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校プール開放		整理番号	931	細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課	コード	610102	連絡先電話番号	1665	昨年度整理番号	947
係名			学校開放係		上位施策名		NO	
予算事業名			学校等開放		地域への学校開放		62	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		45 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第44,45,47,48条	
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内在住、在勤、在学の個人(小学校3年生以下は、16歳以上の保護者同伴)		(2) スポーツ振興法第13条	
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		今年度は、区立小・中学校のプール21カ所を夏季に開放する。うち、9カ所は、従来どおり当該学校の利用者団体協議会に委託し、実施する。残る12校については、業者委託し、実施する。また、同業者に水質管理・プール内清掃も委託した。		活動指標名(式)		(1) 利用人数	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		幼児・児童には、水に慣れる機会を提供し、生徒や成人の体力と健康を増進する。		成果指標名(式)		(1) 開放プール1日当りの利用人数	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		無料で使用できる開放プールは、身近なプールとして貢献度は大きいと考えている。						

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		17年度	年度		
指標	活動指標(1)	人	16,706	19616	19000	19226	19000	19000	101.1	
	活動指標(2)	日	317	316	317	317	317	317	100.0	
	成果指標(1)	人		62	100	61	100	100	61.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	35,908	34,049	31,458	27,109	29,983	31,000	87.4	
	職員数(正規 非常勤)	人	1.01	1.01	1.01	1.10	1.05	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,164	9,164	9,164	9,980	9,527		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	45,072	43,213	40,622	37,089	39,510			
	単位あたりコスト ÷	円	2,698	2,203	2,138	1,929	2,079			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -	千円	45,072	43,213	40,622	37,089	39,510				
受益者負担比率 ÷	%									

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高井戸温水プール、杉並第十小温水プールの計2カ所が設置された
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	民間も含めて区内プール施設が少ないため、学校プール開放に対する要望は根強い。しかし、ここ数年、子どもの減少もあり学校開放プールの利用者数は頭打ちになっている。そのため、プール従事者の一部から利用数の少ないプールについて開放を見直すことを考えても良いのではないかと、との意見も寄せられている。
	今後の予測	天候に左右されるので利用者数は毎年増減するが、平均すると、現在の利用数から大きくは変わらないだろう。ただし、学校のプール教室が縮小される傾向にあり、開放プールへの依存度が高まっていく要素がある。

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		幼稚園園庭及びプール開放				整理番号	932		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	610102	連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	948	
係名				学校開放係		上位施策名			NO		
予算事業名				学校等開放		コード	81200		地域への学校開放		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第44,45,47,48条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第13条						
	区内在住の保護者付き添いの幼児		(3) 杉並区立学校の開放に関する規則								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					活動指標名(式)					
各園2名の指導員をつけ、区立幼稚園のプール6カ所を夏季に開放する。付帯してプール開放期間中は園庭も開放する。					(1) 利用人数						
					(2) 開放のべ日数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）					成果指標名(式)						
乳児・幼児に、水に慣れる機会を提供する。					(1)						
					(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
対象を限定しているが、当該園児に限定していないこと、民間における対象施設が無いことから、貢献している。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		17年度	年度			
指標	活動指標(1)	人	3,095	4193	4000	3541	3600	4000	88.5		
	活動指標(2)	日	66	78	84	84	84	84	100.0		
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,982	1,961	1,825	1,876	1,825	1,800	104.2		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.11	0.11	0.11	0.20	0.15	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	998	998	998	1,815	1,361			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	2,980	2,959	2,823	3,691	3,186				
	単位あたりコスト ÷	円	963	706	706	1,042	885				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	2,980	2,959	2,823	3,691	3,186					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成6年より6園で開放。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	乳児・幼児が入ることのできる専用のプールは少ないため、毎年7月になると、開放予定の問い合わせがあり、期待して待っている区民が多い。また、毎年、同じ(2~3の)幼稚園の近隣住民から騒音の苦情がある。									
	今後の予測	利用人数は、頭打ちと考えられるが、乳児・幼児の専用プールは、依存度が高いと考えられる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財保護審議会運営				整理番号	933		細番号				
所属部課名		教育委員会社会教育スポーツ課		コード	600703	連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	949			
係名		文化財係			上位施策名				NO				
予算事業名		文化財調査・保護		コード	81400	文化・芸術活動の推進				50			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 57 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 文化財保護法								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内の有形・無形の文化財				(2) 杉並区文化財保護条例								
					(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 教育委員会の諮問に応じ、文化財の保護・活用について、調査・審議及び建議をする。(現員8名)				活動指標名(式) (1) 文化財保護審議会の開催数 (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の文化財として指定・登録することにより、文化財の保護と活用が適切に行われるようにする。				成果指標名(式) (1) 文化財保護審議会の開催数 ÷ 文化財保護審議会の開催予定数 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 文化財を適切に保護・管理することにより、地域の伝統的文化資源が将来に継承され、文化・芸術活動の推進に貢献している。													
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		回	9		12		9		9			
	活動指標(2)		件										
	成果指標(1)		%	100		100		100		100			
	成果指標(2)		%										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	684		696		808		756		841	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42	0.50	0.42	0.50	0.42	0.50	0.42	0.50	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,811		3,811		3,811		3,811		3,811
		非常勤職員分		千円	1,470		1,470		1,470		1,470		1,470
	総事業費 ++		千円	5,964		5,976		6,088		6,036		6,121	
	単位あたりコスト ÷		円	662,684		498,013		676,462		670,684		680,129	
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0
差引:一般財源 -		千円	5,964		5,976		6,088		6,036		6,121		
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		文化財保護審議会は、昭和57年の発足以来、毎年、区の指定登録文化財の調査・審議を行っており、現在、65件が区の指定文化財、45件が区の登録文化財となっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		地域の歴史・文化への区民の関心は高まっており、文化財保護審議会に対する区民の期待も高まっている。										
	今後の予測		例年、3~4件の文化財の指定登録が行われており、今後もこのペースで推移するものと予測される。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財の啓発				整理番号	934		細番号				
所属部課名		教育委員会社会教育スポーツ課		コード	600703		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	950		
係名		文化財係				上位施策名				NO			
予算事業名		文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進				50		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区文化財保護条例						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
							(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		文化財案内標示板・標柱の設置などを通じて、区民に対して文化財保護についての啓発を行う。				活動指標名(式)						
							(1) 文化財案内標示板・標柱の設置数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		文化財保護思想を啓発することにより、文化財を保存・継承する。				成果指標名(式)							
						(1) 文化財案内標示板・標柱の設置数 ÷ 文化財案内標示板・標柱の設置予定数							
						(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
伝統的文化資源が将来に向けて保護・継承されることにより、文化・芸術活動の推進に貢献している。													
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	基	3	4	3	3	3						
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,014	2,337	2,366	2,249	2,249						
	職員数(正規 非常勤)	人	1.08	0.50	1.08	0.50	1.08	0.50	1.08	0.50	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,799	9,799	9,799	9,799	9,799					
		非常勤職員分	千円	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470					
	総事業費 ++	千円	13,282	13,605	13,634	13,517	13,517						
	単位あたりコスト ÷	円	4,427,447	3,401,335	4,544,780	4,505,780	4,505,780						
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都からの支出金	千円										
		その他特定財源	千円										
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	13,282	13,605	13,634	13,517	13,517						
受益者負担比率 ÷	%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	昭和53年から文化財の所在地に文化財案内標示板・標柱の設置をしており、平成12年度末までに、203基を設置している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化への区民の関心は強く、本事業に対する区民の期待は高まっている。											
	今後の予測	例年、3~4件の文化財の指定登録が行われるため、今後もこのペースでの文化財案内標示板・標柱の設置が予測される。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録文化財保護奨励金				整理番号	935		細番号						
所属部課名		教育委員会社会教育スポーツ課		コード	600703	連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	951					
係名					文化財係		上位施策名			NO					
予算事業名					文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進	50				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度		(1) 杉並区文化財保護条例				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区指定登録文化財の所有者等				(2)				
											(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区指定登録文化財所有者等に対して、文化財保護奨励金を交付する。						活動指標名(式)				
											(1) 文化財保護奨励金の支出件数				
										(2)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				区指定登録文化財所有者等に対して、文化財保護奨励金を交付することにより、文化財への保護意識を高め、文化財保護を奨励する。						成果指標名(式)					
										(1) 文化財保護奨励金の支出件数 ÷ 文化財保護奨励金の支出予定件数					
										(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
文化財所有者等の文化財への保護意識が一層高まり、伝統的文化資源が将来に継承されて、文化・芸術活動の推進に貢献している。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		件	86		89		91		91		94			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	100		100		100		100		100			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,725		1,764		1,490		1,490		1,558			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42	0.00	0.42	0.00	0.42	0.00	0.42	0.00	0.42	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,811		3,811		3,811		3,811		3,811			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	5,536		5,575		5,301		5,301		5,369			
	単位あたりコスト ÷		円	64,368		62,637		58,249		58,249		57,113			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0		
差引: 一般財源 -		千円	5,536		5,575		5,301		5,301		5,369				
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和57年以来、毎年度、区の指定登録文化財に対して保護奨励金を交付しており、平成12年度においては、91件の交付を行っている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		地域の歴史・文化への区民の関心は高まっており、本事業への区民の期待も大きい。												
	今後の予測		例年、3～4件の文化財の指定登録が行われており、今後もこのペースで推移するものと予測される。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土芸能大会				整理番号	936		細番号							
所属部課名		教育委員会社会教育スポーツ課		コード	600703		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	952					
係名					文化財係					上位施策名		NO				
予算事業名					文化財調査・保護					コード		81400				
										文化・芸術活動の推進		50				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		61 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区文化財保護条例							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		一般区民		(2)							
									(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並郷土芸能保存会が主催する郷土芸能大会に対し、補助金を交付する。								活動指標名(式)			
													(1) 郷土芸能大会の入場者数			
												(2)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				古くから杉並の各地域に伝承されている無形民俗文化財等の郷土芸能を、区民に公開する。								成果指標名(式)				
												(1) 郷土芸能大会の入場者数 ÷ 郷土芸能大会大会の入場予定者数				
												(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																
地域文化の結晶である郷土芸能が区民に公開されることにより、文化・芸術活動の推進に貢献している。																
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度				13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%					
				計画	実績	計画	年度									
指標	活動指標(1)		人	400	400	400	400	400								
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100								
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	898	878	698	678	698								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42	0.00	0.42	0.00	0.42	0.00	0.42	0.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,811	3,811	3,811	3,811	3,811							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	4,709	4,689	4,509	4,489	4,509								
	単位あたりコスト ÷		円	11,772	11,722	11,272	11,222	11,272								
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都からの支出金		千円												
		その他特定財源		千円												
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	4,709	4,689	4,509	4,489	4,509									
受益者負担比率 ÷		%														
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和61年の第1回大会開催以来、毎年1回、一般区民に無料で公開している。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		郷土の伝統芸能が継承されていることに感嘆した、などの声が多い。													
	今後の予測		後継者難もあるが、小中学生の新たな参加もあり、杉並の郷土芸能は着実に継承されていくと予測される。													

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査報告書刊行				整理番号	937		細番号					
所属部課名		教育委員会社会教育スポーツ課		コード	600703	連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	953				
係名		文化財係			上位施策名				NO					
予算事業名		文化財調査・保護		コード	81400	文化・芸術活動の推進			50					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		45年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 文化財保護法							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区文化財保護条例									
	一般区民		(3)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の文化財を周知するため、文化財について解説した冊子を刊行する。			活動指標名(式)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		文化財を保護・継承するため、文化財の意義や特徴について、区民に周知する。			成果指標名(式)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		文化財の意義や特徴を区民に周知することにより、区民の文化財への関心を高め、文化・芸術活動の推進に貢献している。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		冊	1000		1000		1000		1000				
	活動指標(2)		冊	3000		0		3000		3000		0		
	成果指標(1)		%	100		100		100		100				
	成果指標(2)		%	100		0		100		100		0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	655		902		1,058		1,058		662		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.75	0.50	0.75	0.50	0.75	0.50	0.75	0.50	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,805		6,805		6,805		6,805		6,805	
		非常勤職員分		千円	1,470		1,470		1,470		1,470		1,470	
	総事業費 ++		千円	8,929		9,176		9,332		9,332		8,936		
	単位あたりコスト ÷		円	8,929		9,176		9,332		9,332		8,936		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	8,929		9,176		9,332		9,332		8,936			
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和45年以来、区内の文化財や区が新たに指定登録した文化財について解説した冊子を刊行している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		区内の文化財について詳しく知ることができる、と好評である。											
	今後の予測		「杉並の指定登録文化財」は、今後も、毎年刊行していく。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録候補等調査委託				整理番号	938		細番号			
所属部課名		教育委員会社会スポーツ課		コード	600703	連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	954		
係名				文化財係		上位施策名			NO			
予算事業名				文化財調査・保護		文化・芸術活動の推進			50			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 文化財保護法			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区文化財保護条例					
	既に指定登録されたものを除く区内の有形・無形文化財				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
	区内にある指定登録文化財候補を調査し、その結果を教育委員会に答申する。				(1) 文化財調査委託の件数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)								
区内にある指定登録文化財候補について、指定登録文化財の条件に合致するかどうかを調査する。				(1) 指定登録文化財の件数 ÷ 文化財調査委託の件数								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区の指定登録文化財を増加させることにより、伝統的文化資源を保護・継承し、文化・芸術活動の推進に貢献している。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件	4	4	5	4	4					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	250	230	500	400	400					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.91	0.50	0.91	0.50	0.91	0.50	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,256	8,256	8,256	8,256	8,256				
		非常勤職員分	千円	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470				
	総事業費 ++	千円	9,976	9,956	10,226	10,126	10,126					
	単位あたりコスト ÷	円	2,493,983	2,488,983	2,045,186	2,531,483	2,531,483					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	9,976	9,956	10,226	10,126	10,126					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	昭和57年の杉並区文化財保護条例制定以来、区の指定登録文化財候補について、高度な専門的知識を有する学識経験者に調査を委託している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史・文化に対する区民の関心の高まりに伴い、区の指定登録文化財への区民の関心も高まっている。										
	今後の予測	区の指定登録文化財は、ここ数年、毎年3~4件ずつ増加しており、今後もこのペースで推移すると予測される。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年委員活動の支援				整理番号	939		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	955		
係名		管理係				上位施策名			NO			
予算事業名		青少年教育		コード	81600	生涯学習環境の整備・充実			64			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区青少年委員に関する規則					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		青少年委員		(2)					
							(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		青少年委員活動を充実させるために、定例会(年6回)と研修会(年4回)を開催する。				活動指標名(式)					
							(1) 定例会・研修会開催回数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		より多くの青少年・青少年団体・指導者が区内各地で活発に活動できるようにする。青少年委員が定例会・研修会に出席し、知識・情報等を知ることにより、地域・行政・学校をつなぐパイプ役をより効果的に果たせるようにする。				成果指標名(式)						
						(1) 青少年委員が関わった事業数 ÷ 子どもの活動する公共施設数						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
青少年をとりまく環境が整備され、青少年の諸活動が充実することにより、青少年の自主的な活動を促す。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		18	年度				
指標	活動指標(1)	回	10	11	10	10	10	11	100.0			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	100	100	100	94.8	100	100	94.8			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,427	6,158	5,467	4,968	5,397					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.80	0.75	0.80	1.00	0.86	1.00	0.80	1.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,258	7,258	7,803	7,258	特記事項 平成11年度まで担当は社会教育センター			
		非常勤職員分	千円	2,204	2,204	2,939	2,939	2,939				
	総事業費 ++	千円	15,890	15,621	15,664	15,710	15,594					
	単位あたりコスト ÷	円	1,588,965	1,420,059	1,566,440	1,570,978	1,559,440					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	15,890	15,621	15,664	15,710	15,594					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	昭和28年度に都の制度として発足した。当時は、青少年関連施策が未整備な状態であった。現在は、青少年を取り巻く状況が大きく変化してきており、関連施策も整備されているものの、地域の教育力の低下が憂慮されている状況である。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年育成委員会(選出母体)との関係や青少年委員の位置付け、役割などが重複してわかりにくい。										
	今後の予測	平成13年4月の出張所統廃合で、青少年育成委員会(選出母体)の変化が予測できない状況にある。教育改革にともなう法律改正や平成14年度には完全学校週5日制が実施され、地域の教育力の必要性が高まる中、学校外で子どもたちの参画する環境を整えることが、より一層求められる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年社会参加活動推進				整理番号	940		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701		連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	956	
係名 管理係				上位施策名						NO		
予算事業名 青少年教育				コード	81600		生涯学習環境の整備・充実				64	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13 年度				(1) 社会教育法第5・7条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学の青少年 PTA、区内の家庭・店・事業所				(2) 社会教育センター条例							
					(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 年長児童育成の街試行事業（厚生労働省補助金）を原資に自主的に活動できる青少年育成のため、中高校生向け雑誌作りに係る編集講座を開催する。杉小P協が主体のピーボ110番プレート設置活動に対する支援及びプレート設置家庭等における見舞金制度（保険）の導入				活動指標名(式) (1) 講座受講者数 (2) ピーボ110番プレート設置枚数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 青少年が学校や家庭では経験しにくいテーマに関して、自らの手で雑誌を作り上げることにより、青少年の自己実現を図る。地域で子どもたちを危険から守る体制を作る。				成果指標名(式) (1) 講座受講者数 ÷ 青少年社会参加目標人数(平成13年4月1日現在) (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 青少年の自己実現を助け、青少年に対する地域活動などの社会参加を促進する。地域が一体となり、子どもたちを見守る体制を作り、犯罪の起きにくいまちの雰囲気を作る。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		18年度				
指標	活動指標(1)		人	280		130	337	43		259.2		
	活動指標(2)		枚	2,054		2,500	2,616	3,000	3,000	104.6		
	成果指標(1)		%	6.1		100	14.2	100		14.2		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,880		3,738	3,458	3,645	450	92.5		
	職員数(正規・非常勤)		人		1.20	0.20	1.05	0.80	1.07	0.80	特記事項 11年度まで担当は社会教育センター	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0		10,888	9,527	9,708	9,073			
		非常勤職員分	千円	0		588	2,351	2,351	2,351			
	総事業費 ++		千円	0		16,355	15,616	15,517	15,069			
	単位あたりコスト ÷		円			58,412	120,122	46,045	350,447			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0		0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0		16,355	15,616	15,517	15,069				
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		青少年の健全育成にあつたては、集団生活や自然体験に比べて、ボランティア活動や身近な地域での活動の重要性が高まっている。子どもたちが犯罪に巻き込まれるなど、子どもを取り巻く社会環境は更に厳しくなっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		青少年のニーズは、更なる多様化の様相を見せている。家庭や学校の部活動などでは得られない体験学習の場となっている。理想は、ピーボ110番のプレートがなくても地域で子どもたちは守らなければならない。ただし、ピーボ110番に駆け込んできた子どもたちがいるなど、プレート設置活動の成果は確実に上がっている。									
	今後の予測		厚生労働省補助金が今年度で終了してしまうのが、地域活動など青少年の社会参加を促進する機会や場が、今後も求められる。ピーボ110番プレート設置活動に対する支援は、犯罪が起きにくいまちの雰囲気を作るなどの地域課題が解消されるまで、補助金終了後も同様に継続して行かなければならない。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域教育連絡協議会				整理番号	941		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	957	
係名 管理係					上位施策名					NO	
予算事業名 青少年教育					コード	81600		学校運営への参画		61	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 地域教育連絡協議会共催分担金支給要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区立23中学校各区域内の保護者・学校関係者及び地域住民。				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 23中学校区の各地域教育連絡協議会と共催し、青少年の健全育成のために、懇談事業を開催する。				活動指標名(式)						
					(1) 年間開催予定数						
				(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 子ども達の日常的な地域における学校外での教育活動のあり方等についての連絡、調整、企画の充実、情報交換を行うことを通して、青少年の健全育成を図るための地域の体制づくりを整える。				成果指標名(式)							
				(1) 開催数 ÷ 開催予定数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 地域の広域ネットワーク化を進め、家庭・地域・学校との緊密な連携と地域の教育力の向上を図り、青少年の健全育成に貢献する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績	計画		18年度		
指標	活動指標(1)		回	45	69	46	69		69	66.6	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	65.2	100	66.6	100		100	66.6	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	483	470	470		470			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.12	0.70	0.20	1.00	0.22	1.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,089	1,815	1,996		1,815		11年度まで担当は社会教育センター
		非常勤職員分	千円	0	2,057	2,939	2,939		2,939		
	総事業費 ++		千円	0	3,629	5,224	5,405		5,224		
	単位あたりコスト ÷		円		80,646	75,704	117,501		75,704		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	0	3,629	5,224	5,405		5,224			
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和58年度よりスタートした地域教育懇談会が青少年育成委員会の事業や児童館の事業との類似・重複が指摘され、「次代を担う青少年の育成に向けて」にもつき、平成11年度より地域教育活動の振興・充実を図る意味で地域教育連絡協議会として再構築することになった。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		旧地域教育懇談会との違いがよくわからない。青少年育成委員会の事業との違いがはっきりしない。								
	今後の予測		教育改革にともなう法律改正や平成14年度の完全学校週5日制実施により、地域の教育力の向上が一層求められ、それぞれの地域で、体験活動を含めた子ども達の学校外の活動をどのように進めていくのかを考えることが必要となり、地域教育連絡協議会の役割が大きくなる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども地域活動促進事業				整理番号	942		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600701	連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	958		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		青少年教育		コード	81600	学校運営への参画				61		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 子ども地域活動促進事業共催分担金支給要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区立小・中学校在籍児童・生徒とその親・学校関係者及び地域住民。				(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 子ども達が直接企画・運営などに参画する23中学校区内の実行委員会と教育委員会が共催して開催している。				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 子ども達が直接企画・運営などに参画する23中学校区内の実行委員会と教育委員会が共催して開催している。				活動指標名(式) (1) 開催中学校区数 (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 対象となる子ども達の活躍する場の提供を図り、学校外での活動を活発にする。				成果指標名(式) (1) 参加者数 ÷ 区内児童・生徒数(4月1日現在) (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 学校外での子ども達の活躍する場ができることにより、青少年の健全育成に貢献する。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		18	年度				
指標	活動指標(1)	中学校区		23	23	23	23	23				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%		40	50	48	50	90				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円		974	1,157	712	1,170					
	職員数(正規 非常勤)	人		0.12 0.70	0.20 1.00	0.26 1.00	0.35 1.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,089	1,815	2,359	3,176	11年度まで担当は社会教育センター			
		非常勤職員分	千円	0	2,057	2,939	2,939	2,939				
	総事業費 ++	千円	0	4,120	5,911	6,010	7,285					
	単位あたりコスト ÷	円		179,133	256,983	261,303	316,720					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	4,120	5,911	6,010	7,285					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	「次代を担う青少年の育成のために」に基づき平成11年度に再構築された地域教育連絡協議会のもとで実施される事業への支援をおこなっている。平成11年度途中から実施団体に対し文部科学省の委嘱費があてられるようになったが、平成13年度に委嘱費の制度は、独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センターの「子どもゆめ基金」の助成制度に変更となった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年育成委員会の事業との類似性。										
	今後の予測	教育改革にともなう法律改正や完全学校週5日制実施により、体験活動や地域の教育の向上が、より一層求められる。また、学校を会場に、児童会・生徒会の子ども達の自主性に基づく取り組みも多く、新しい取り組みに期待は高まっている。その一方で文部科学省の委嘱費が終了し、平成13年度は「子どもゆめ基金」の助成制度に変わったため、14年度以降の地域での取り組みが弱くなる可能性がある。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育指導委員				整理番号	973		細番号						
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	997				
係名				社会体育係		上位施策名				NO					
予算事業名				社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実		64				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		37 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) スポーツ振興法第19条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		スポーツをする機会がない(少ない)区民、社会体育団体等。		(2) 杉並区教育委員会非常勤職員規則								
							(3) 杉並区体育指導委員に関する規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		地域スポーツ普及のための検討及び活動、区民歩こう会(区内、郊外)、スポレク大会・綱引き。				活動指標名(式)								
						(1) 会議数及び事業実施回数									
						(2) 事業参加者数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		日頃、スポーツをする機会がない(少ない)人たちが、自分の体力にあったスポーツを見つけ、継続的にスポーツができるようにする。				成果指標名(式)									
						(1) (代)事業参加者数									
						(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
あらゆる年代の区民が生涯にわたってスポーツに親しむことにより、区民の健康増進を図ることができる。また、スポーツを通じて地域での仲間づくりが促進され、ひいては地域づくりに貢献できる。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績		計画			年度	
指標	活動指標(1)		回	136		144		64		78		90			
	活動指標(2)		人	3,635		4,303		581		484		600			
	成果指標(1)		人	3,635		4,303		581		484		600			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,816		5,896		6,061		3,166		6,400			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.31	0.00	1.06	0.00	0.84	0.00	0.84	0.00	0.84	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,886		9,617		7,621		7,621		7,621			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	19,702		15,513		13,682		10,787		14,021			
	単位あたりコスト ÷		円	144,865		107,732		213,786		138,299		155,792			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 + +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	19,702		15,513		13,682		10,787		14,021				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和37年体育指導委員制度発足当初は、スポーツ人口を増やすための実技指導者的な役割が期待されていたが、平成元年に国と都の答申が出され、地域スポーツのコーディネーターとして位置づけられるようになった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		体育指導委員が企画実施している事業の内、ウォーキング事業に関する問い合わせが多く、多くの区民が歩く機会を求めていることが分かる。秋の郊外歩こう会は毎年2~3倍の申込があり、参加者には好評である。												
	今後の予測		高齢化社会を迎え、区民が心身共に健康に生活していける環境を作ることは非常に重要な施策となっている。スポーツの需要は今後も高まっていくと考えられるが、一方では、なかなかスポーツの場に参加できない人たちも多い。こうした区民にスポーツを楽しんでもらうための方策を、現在体育指導委員が研究し、事業を企画・実施しているため、今後数年かけて事業の定着を図っていく。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		スポーツ栄誉章				整理番号	974		細番号							
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	998					
係名					社会体育係					上位施策名		NO				
予算事業名					社会体育振興					コード		83400				
					生涯学習環境の整備・充実							64				
事務事業の概要	事業開始年度					<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		61		年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期					<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度		(1) スポーツ振興法第3条				
	対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(2) 杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱				
	区民及び区内の団体に所属する選手で、スポーツ大会等で基準に定める成績を収めたもの。											(3) 杉並区スポーツ栄誉顕彰基準				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）													活動指標名(式)		
審査会にて顕彰者を決定し、年1回表彰式を開催してメダル及び表彰状を授与する。													(1) 顕彰者数			
													(2)			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）													成果指標名(式)			
スポーツ大会等で一定以上の成績を収めた者を顕彰し、選手及びスポーツ関係者の励みとする。													(1) 顕彰者数 ÷ 杉並区の人口			
													(2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																
区民のスポーツ振興。																
区分			単位	10年度実績	11年度実績		12年度				13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
							計画		実績			年度				
指標	活動指標(1)			人	187	112		175		249		175				
	活動指標(2)															
	成果指標(1)			%	0.04	0.02		0.03		0.05		0.03				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費			千円	428	311		398		480		398				
	職員数(正規 非常勤)			人	0.29	0.00	0.46	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)			千円	2,631	4,174		3,176		3,176		3,176			
		非常勤職員分			千円	0	0		0		0		0			
	総事業費 + +			千円	3,059	4,485		3,574		3,656		3,574				
	単位あたりコスト ÷			円	16,359	40,041		20,420		14,681		20,420				
	財源	受益者負担分			千円	0	0		0		0		0			
		国・都からの支出金			千円	0	0		0		0		0			
		その他特定財源			千円	0	0		0		0		0			
		特定財源計 + +			千円	0	0		0		0		0			
差引:一般財源 -			千円	3,059	4,485		3,574		3,656		3,574					
受益者負担比率 ÷			%	0.0	0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			制度が発足した当初はオリンピックなど国際的な大会で活躍した人を顕彰していたが、制度が周知されるに従って対象が広がり、区民にとって身近な顕彰制度になってきている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)			顕彰されることは、本人及び関係者にとって大変励みになると喜ばれている。												
	今後の予測			スポーツ関係の唯一の顕彰制度であり、今後も継続する。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査・研究（地域スポーツ・社会体育に関する）				整理番号	975		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673			
係名		社会体育係		上位施策名				NO			
予算事業名		社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実		64		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		37 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条、第9条第6号				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		社会体育振興に関する情報。		(2)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		社会体育に関する図書や資料、情報を収集する。社会教育主事研修に参加する。		活動指標名(式)		(1) 図書購入数				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		社会体育に関する図書や資料、情報を収集し、社会体育振興に役立てる。社会教育主事研修に参加して社会体育に関する知識を高め、社会体育振興に役立てる。		成果指標名(式)		(1) 図書蔵書数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 各種事業の推進及び区民からの問合せ等に役立てる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		冊	12	12	18	18	20			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		冊	136	148	160	160	180			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	541	334	490	345	415	特記事項		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.16 0.00	0.31 0.00	0.21 0.00	0.21 0.00	0.21 0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,452	2,813	1,905	1,905			1,905
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	1,993	3,147	2,395	2,250	2,320			
	単位あたりコスト ÷		円	166,057	262,219	133,074	125,018	116,017			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	1,993	3,147	2,395	2,250	2,320				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		従来は競技スポーツが主流だったが、国民の健康志向の高揚に伴い、誰でも楽しめるニュースポーツ(インディアカ、パウンドテニス等)が急速に増加するなど、スポーツ環境の変化が激しく、情報も拡大し続けている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		ウォーキングに関する情報やニュースポーツのルールなどについて問い合わせがある。								
	今後の予測		図書の購入、スポーツ情報の収集を継続する。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歩っ人(ほっと)すぎなみの推進				整理番号	976		細番号						
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1000				
係名				社会体育係				上位施策名			NO				
予算事業名				社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実			64			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		8年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 社会教育法第5条第1項第5号				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民、自主グループ		(2) スポーツ振興法第3条、第7条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				ウォーキングリーダー養成事業(講習会) 歩くことに関する情報収集・提供 区内ウォーキングコースの設定とマップの作成				活動指標名(式)				(1) 事業の回数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				区民が自分にあったスタイルの歩き方を見つけ、自分のペースでウォーキングを実践できるようにする。				成果指標名(式)				(1) (代)事業参加者数		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												(2)			
歩くことの普及により、区民の健康増進・体力づくりを推進できる。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		回	5		3		4		3		3		100.0	
	活動指標(2)		人	156		67		50		65		50		130.0	
	成果指標(1)		人	156		67		50		65		50		130.0	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	794		329		635		310		635		48.8	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.58	0.00	0.46	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,262		4,174		3,176		3,176		3,176			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	6,056		4,503		3,811		3,486		3,811			
	単位あたりコスト ÷		円	1,211,268		1,500,860		952,638		1,161,850		1,270,183			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	6,056		4,503		3,811		3,486		3,811				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		軽登山・ウォーキング人口が増えるに従って、知識不足による事故の増加、連れられ族、マナーの低下、自然破壊などの問題がクローズアップされてきた。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		軽登山・ウォーキングに関する問い合わせは非常に多い。歩っ人マップは配布後すぐに品切れとなり、増刷の要望が多い。												
	今後の予測		歩くことは、誰にでも簡単にできて健康増進に効果的なスポーツなので、今後も愛好者が増え、歩く事業の要望は増加すると思われる。また、軽登山などは知識不足による事故の増加、マナー低下による自然破壊が懸念される。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歩こう会				整理番号	977		細番号						
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1001				
係名				社会体育係		上位施策名				NO					
予算事業名				社会体育振興		コード	83400		生涯学習環境の整備・充実		64				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		45 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) スポーツ振興法第3条、第7条						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民		(2)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				年2回、区民歩こう会を実施する。		活動指標名(式)				(1) 歩こう会開催回数				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				日頃運動をしていない人、ウォーキングをしたいけど機会がないという人について、自主的にウォーキングを楽しめるようにする。		成果指標名(式)				(1) (代)参加者数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
歩くことは、子どもから高齢者まで気軽に参加できる身近なスポーツで、健康増進、ストレス解消、区民の交流など幅広い効果がある。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績		計画		年度		
指標	活動指標(1)		回	2		2		2		2					
	活動指標(2)		人	435		303		445		205		445			
	成果指標(1)		人	435		303		445		205		445			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,110		1,016		1,179		756		1,178			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.43	0.00	0.46	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	特記事項 郊外歩こう会12年度参加費@3,000円	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,901		4,174		3,176		3,176		3,176			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	5,011		5,190		4,355		3,932		4,354			
	単位あたりコスト ÷		円	2,505,695		2,594,790		2,177,275		1,965,775		2,176,775			
	財源	受益者負担分		千円	672		579		731		399		731		
		国・都からの支出金		千円	2		2		2		6		11		
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 ++		千円	674		581		733		405		742		
差引:一般財源 -		千円	4,337		4,609		3,622		3,527		3,612				
受益者負担比率 ÷		%	13.4		11.2		16.8		10.1		16.8				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和45年当時は、バス旅行的な感覚もあったが、近年はウォーキングが手軽なスポーツとして認識されるようになってきており、ウォーキングブームも手伝って申込倍率も高くなってきている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「また参加したい」という声が多く、特に郊外歩こう会は毎回抽選になるほど申込者が多い。また、問い合わせで、「 才ですけど、連れて行ってもらえますか?」とか「早く歩けないんですけど、大丈夫でしょうか?」といった声も聞かれ、足に自信がない人も、区の主催ということで申し込んでくる。												
	今後の予測		民間の企画する歩こう会的なツアーやトレッキングが増えてきているが、足に自信のない人や高齢者には不安な点も多い。民間のウォーキンググループと連携して、体力にあった歩き方ができる企画や身近なところで楽しむ企画など、バリエーションに富んだ歩こう会を提供していく。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		わいわいスポーツ教室（心身障害者スポーツ教室）				整理番号	978		細番号								
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1002						
係名					社会体育係					上位施策名		NO					
予算事業名					社会体育振興					コード		83400					
					生涯学習環境の整備・充実							64					
事務事業の概要	事業開始年度					○昭和 ●平成		4		年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期					●無 ○有		平成		年度		(1) スポーツ振興法第7条					
	対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(2) わいわいスポーツ教室実行委員会規約					
	区内在住・在勤・在学の15歳以上の重度心身障害者											(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					年6回、水泳、ボーリング、ダンスなどのスポーツやレクリエーションを実施する。								活動指標名(式)			
														(1) 事業の実施回数			
													(2) 参加者数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）					日頃スポーツに接する機会が少なく、運動不足になりがちな障害者に、スポーツの楽しさやボランティアと交流する楽しさを体験してもらう。								成果指標名(式)				
													(1) 参加率 教室参加者÷申込者				
													(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																	
スポーツを体験し、健康増進、参加者同志の交流を図る。また、健常者との交流も重要な効果である。																	
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度				13年度計画		目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
							計画		実績				年度				
指標	活動指標(1)		回	6	6	6	6	6	6	6	6	6					
	活動指標(2)		人	226	213	180	235	180	180	180	180	180					
	成果指標(1)		%	82	86	100	85	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	903	889	767	709	767	767	767	767						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.87	0.00	1.06	0.00	0.84	0.00	0.84	0.00	0.84	0.00	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,894	9,617	7,621	7,621	7,621	7,621	7,621	7,621					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	8,797	10,506	8,388	8,330	8,388	8,388	8,388	8,388						
	単位あたりコスト ÷		円	1,466,085	1,751,063	1,398,053	1,388,387	1,398,053	1,398,053	1,398,053	1,398,053						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0	0	0					
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0	0	0					
		その他特定財源		千円	0	0	0	0	0	0	0	0					
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	8,797	10,506	8,388	8,330	8,388	8,330	8,388	8,388							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		障害者の余暇活動を支援する事業として、スポーツの観点から始まった。(財)杉並区スポーツ振興財団でも障害者のスポーツ教室を継続的に実施しているが、バスの送迎がないため、重度障害者の参加はほとんどない。障害者福祉課でも障害者の余暇対策事業に取り組み始めているが、まだ、事業量が不足している。														
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		教室回数を増やしてほしい。文化的な事業をやってほしい、などの声がある。種目としては、水泳、ボーリングなどに人気がある。														
	今後の予測		参加希望者が増加すると予想される。														

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指導者養成（地域スポーツ）			整理番号	979	細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673	昨年度整理番号	1003
係名				社会体育係		上位施策名		NO	
予算事業名				指導者養成		生涯学習環境の整備・充実		64	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) スポーツ振興法第11条		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		地域スポーツの指導者。実技指導だけでなく、クラブの運営など自主的なスポーツ活動をリードする人材。		(2)		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		スポーツ指導者、地域スポーツのリーダーに、リーダーとして必要と思われる知識を付与する講習会を開催する。		活動指標名(式)		(1) 講習会の回数		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		指導者となる人のきっかけづくりと、現在指導者的な立場にある人の資質向上を図り、より高いレベルの指導者になってもらう。		成果指標名(式)		(1) 参加率 参加者÷定数		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 自主的にスポーツ活動を進めていく指導者、生涯を通じて活動し続ける指導者を養成することで地域スポーツの振興を図る。									

区分	単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	年度			
指標	活動指標(1)	回	1	1	1	1	1	1	1				
	活動指標(2)	人	50	36	50	48	50						
	成果指標(1)	%	82	86	100	96	100						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	244	101	235	89	235						
	職員数(正規 非常勤)	人	0.72 0.00	0.46 0.00	0.35 0.00	0.35 0.00	0.35 0.00	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,533	4,174	3,176	3,176	3,176					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	6,777	4,275	3,411	3,265	3,411						
	単位あたりコスト ÷	円	6,776,560	4,274,580	3,410,550	3,264,550	3,410,550						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0					
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0					
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	6,777	4,275	3,411	3,265	3,411						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	指導者養成制度として、スポーツリーダーバンク制度を運営していたが、ニュースポーツの普及という点では一定の役割を果たしたので、平成9年度を持って終了した。今後は、多様化、多年代化したスポーツ活動に対応できる地域スポーツのリーダーの育成が望まれる。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	スポーツ活動における事故の対応や法的な責任問題などに関心が高い。また、スポーツ医学に関しても強い関心を持っている。											
	今後の予測	地域スポーツを活性化していく上で、質の高いリーダーを育てていくことは欠かせない事業である。今後も事故防止に関する啓蒙や、スポーツ医学に基づく新しい知識を広めていく必要がある。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育団体育成				整理番号	980		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1004	
係名				社会体育係		上位施策名			NO		
予算事業名				体育団体育成		コード	84200		生涯学習環境の整備・充実		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) スポーツ振興法第5条、第7条 (2) 杉並区教育委員会社会体育事業共催分担金支出等要綱 (3) 杉並区体育協会補助金要綱						
	各種体育団体が行なう区民を対象とした教室、大会等。体育協会への補助金										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		各種スポーツ団体が行う区民を対象としたスポーツ教室や大会等を共催・後援する。共済事業には、内容に応じて定額の負担金を出す。体育協会の運営を補助する。		活動指標名(式)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		各種スポーツ団体の活動を共催・後援という形で助成し、活動を活性化するとともに、地域スポーツの普及を図る。		成果指標名(式)							
				(1) (代)参加者数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区民がスポーツに参加をする機会を増やし、区のスポーツを振興することができる。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	件	145	145	131	153	150				
	活動指標(2)	人	9,204	20,419	20,000	20,905	20,000				
	成果指標(1)	人	9,204	20,419	20,000	20,905	20,000				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,977	4,148	3,810	3,646	4,510				
	職員数(正規 非常勤)	人	1.44 0.00	1.77 0.00	1.42 0.00	1.42 0.00	1.42 0.00	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,065	16,059	12,884	12,884	12,884			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	16,042	20,207	16,694	16,530	17,394				
	単位あたりコスト ÷	円	110,635	139,360	127,433	108,037	115,958				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0	0			
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	16,042	20,207	16,694	16,530	17,394				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	各種スポーツ団体の助成については、当初からほぼ同じ団体の事業に助成されており、予算の関係上新たな団体への支援が少ない。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	教育委員会の共催もしくは後援がほしい。大会を実施したいので会場を確保してほしい等。									
	今後の予測	ニュースポーツの団体が新たに結成されるなど、要望が高まって行く予想される。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（松ノ木運動場）				整理番号	981		細番号	
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		
係名		社会体育係				上位施策名	NO			
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実	64		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第12条					
	施設		野球場、テニスコート							
	利用者		区民、体育団体等							
	施設		野球場、テニスコート							
利用者		区民、体育団体等								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名（式）				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名（式）				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。								
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	93,597	103,388		97,955				
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	18.3	20.2		19.1				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	34,958	22,236	23,839	25,786	21,932			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542	10年度の事業費には、キュービクル等の取り替え工事費(13,535千円)が、12年度の事業費には、照明器具一部取り替え工事費(5,670千円)が、13年度の事業費には、テニスコート人工芝張替等工事費(4,833千円)が含まれる。	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	37,045	24,141	25,381	27,328	23,474			
	単位あたりコスト ÷	円	396	234		279				
	財源	受益者負担分	千円	11,045	10,142	11,030	10,858	10,709		
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	11,045	10,142	11,030	10,858	10,709		
差引:一般財源 -		千円	26,000	13,999	14,351	16,470	12,765			
受益者負担比率 ÷	%	29.8	42.0	43.5	39.7	45.6				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり								
	今後の予測	現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（上井草スポーツセンター）				整理番号	983		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1007	
係名				社会体育係				上位施策名		NO		
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実		64			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 56 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設 運動場、体育館、温水プール、テニスコート等 利用者 区民、体育団体等				(2) スポーツ振興法第12条							
					(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名（式）							
	体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				(1) 施設利用者数 (2)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名（式）								
施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人	279,287	332,185		378,714						
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	54.7	65		73.8						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	259,466	260,828	257,906	263,517	261,435					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.23	0.31	0.28	0.22	0.22	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	2,813	2,540	1,996	1,996				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	261,553	263,641	260,446	265,513	263,431					
	単位あたりコスト ÷	円	937	794		701						
	財源	受益者負担分	千円	67,410	75,999	78,551	82,492	83,342				
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	67,410	75,999	78,551	82,492	83,342				
差引：一般財源 -		千円	194,143	187,642	181,895	183,021	180,089					
受益者負担比率 ÷	%	25.8	28.8	30.2	31.1	31.6						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。										
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり										
	今後の予測	現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（下高井戸運動場）				整理番号	984		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1008	
係名				社会体育係				上位施策名		NO		
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実		64			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 41 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設 運動場 利用者 区民、体育団体等				(2) スポーツ振興法第12条							
					(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名（式）							
	体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				(1) 施設利用者数							
				(2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名（式）								
施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	58,404	61,011		56,900					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	11.4	11.9		11.1					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	52,767	52,054	50,539	50,981	49,723				
	職員数（正規 非常勤）		人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17	特記事項			
	人件費	職員分（超勤分含む）	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	54,854	53,959	52,081	52,523	51,265				
	単位あたりコスト ÷		円	939	884		923					
	財源	受益者負担分		千円	7,973	7,204	7,466	7,823	6,995			
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	7,973	7,204	7,466	7,823	6,995			
差引：一般財源 -		千円	46,881	46,755	44,615	44,700	44,270					
受益者負担比率 ÷		%	14.5	13.4	14.3	14.9	13.6					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。									
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり									
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（馬橋公園運動広場）				整理番号	985		細番号					
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1009			
係名				社会体育係				上位施策名		NO				
予算事業名				体育施設維持運営		コード	84400		生涯学習環境の整備・充実		64			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) スポーツ振興法第12条					
	施設				多目的運動広場				(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則					
	利用者				区民、体育団体等									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）								活動指標名（式）						
体育施設の維持管理・運営を行う。								(1) 施設利用者数						
								(2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）								成果指標名（式）						
施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。								(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。														
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)		人	21,416	19,799		17,637							
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	4.2	3.9		3.4							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,067	3,025	4,248	4,937	3,240						
	職員数（正規 非常勤）		人	0.23 5.00	0.21 5.00	0.17 5.00	0.17 5.00	0.17 5.00	特記事項					
	人件費	職員分（超勤分含む）		千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542					
		非常勤職員分		千円	14,695	14,695	14,695	14,695	14,695					
	総事業費 ++		千円	20,849	19,625	20,485	21,174	19,477						
	単位あたりコスト ÷		円	974	991		1,201							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0					
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0					
差引：一般財源 -		千円	20,849	19,625	20,485	21,174	19,477							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。											
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり											
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（塚山公園運動場）				整理番号	986		細番号						
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1010				
係名				社会体育係				上位施策名		NO					
予算事業名				体育施設維持運営		コード	84400		生涯学習環境の整備・充実		64				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) スポーツ振興法第12条						
	施設				少年野球場				(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	利用者				区民、体育団体等										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				体育施設の維持管理・運営を行う。				活動指標名（式）				(1) 施設利用者数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名（式）				(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、12年＝513,180人			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。			
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度計画		12年度実績		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	16,082		12,709				10,757					
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	3.1		2.5				2.1					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,161		3,163		3,064		2,667		3,064			
	職員数（正規 非常勤）		人	0.23	6.00	0.21	6.00	0.17	6.00	0.17	6.00	0.17	6.00	特記事項	
	人件費	職員分（超勤分含む）		千円	2,087		1,905		1,542		1,542		1,542		
		非常勤職員分		千円	17,634		17,634		17,634		17,634		17,634		
	総事業費 ++		千円	22,882		22,702		22,240		21,843		22,240			
	単位あたりコスト ÷		円	1,423		1,786				2,031					
	財源	受益者負担分		千円	10		30		50		51		72		
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	10		30		50		51		72		
差引：一般財源 -		千円	22,872		22,672		22,190		21,792		22,168				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.1		0.2		0.2		0.3				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。												
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり												
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（和田堀公園プール）				整理番号	987		細番号						
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1011				
係名				社会体育係				上位施策名		NO					
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実		64						
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		40年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(2) スポーツ振興法第12条				
	施設				屋外プール						(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則				
	利用者				区民、体育団体等										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名(式)				(1) 施設利用者数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名(式)				(1) カバー(場の提供)率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。			
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%					
					計画	実績	計画		年度						
指標	活動指標(1)		人	32,085	42,425		46,881								
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	6.3	8.3		9.1								
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	100,014	36,180	38,989	35,788	41,329							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17		特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542		10年度の事業費には、循環濾過装置・給排水設備等改修工事費(57,540千円)が、13年度の事業費には、幼児用プール循環パイプ取替工事費(4,350千円)が含まれる。					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	102,101	38,085	40,531	37,330	42,871							
	単位あたりコスト ÷		円	3,182	898		796								
	財源	受益者負担分		千円	10,141	13,746	13,170	14,487	13,082						
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	10,141	13,746	13,170	14,487	13,082						
差引:一般財源 -		千円	91,960	24,339	27,361	22,843	29,789								
受益者負担比率 ÷		%	9.9	36.1	32.5	38.8	30.5								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり												
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（関根文化公園プール）				整理番号	988		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673				
係名		社会体育係				上位施策名	NO					
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実	64				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第12条							
	施設		屋外プール		(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則							
	利用者		区民、体育団体等									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名(式)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人	13,575	16,875		18,278						
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	2.7	3.3		3.6						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	20,361	21,747	15,955	17,318	14,248					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542	10年度の事業費には、ネットフェンス改修工事費(2,205千円)が、11年度の事業費には、漏水防止修理工事費(4,568千円)が含まれる。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	22,448	23,652	17,497	18,860	15,790					
	単位あたりコスト ÷	円	1,654	1,402		1,032						
	財源	受益者負担分	千円	2,978	3,802	3,756	4,182	3,836				
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	2,978	3,802	3,756	4,182	3,836				
差引:一般財源 -	千円	19,470	19,850	13,741	14,678	11,954						
受益者負担比率 ÷	%	13.3	16.1	21.5	22.2	24.3						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり										
	今後の予測	現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（阿佐谷けやき公園プール）				整理番号	989		細番号	
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		
係名		社会体育係				上位施策名	NO			
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実	64		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		56年度		根拠法令等			
	事業終期		●無 ○有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号 (2) スポーツ振興法第12条 (3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設 屋外プール 利用者 区民、体育団体等							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名(式)			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名(式)			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。							
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	19,880	26,342		28,690			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	3.9	5.2		5.6			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,017	19,474	19,166	18,467	18,183		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17		特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	22,104	21,379	20,708	20,009	19,725		
	単位あたりコスト ÷		円	1,112	812		697			
	財源	受益者負担分		千円	6,266	8,464	8,061	9,297	8,428	
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 + +		千円	6,266	8,464	8,061	9,297	8,428	
差引:一般財源 -		千円	15,838	12,915	12,647	10,712	11,297			
受益者負担比率 ÷		%	28.3	39.6	38.9	46.5	42.7			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり							
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（高井戸温水プール）				整理番号	990		細番号	
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		
係名		社会体育係				上位施策名	NO			
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実	64		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第12条					
	施設		温水プール		(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則					
	利用者		区民、体育団体等							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名(式)				
						(1) 施設利用者数				
						(2)				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名(式)				
						(1) カバー(場の提供)率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	136,972	137,194		138,217				
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	26.8	26.8		26.9				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	121,452	156,038	104,124	91,792	107,120		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542	特記事項 10年度の事業費には、中央監視装置交換工事費(3,658千円)が、11年度の事業費には、オーバーフロータンク設置等改修工事費(63,735千円)が、13年度の事業費には、照明制御システム改修等工事費(5,971千円)が含まれる。	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	123,539	157,943	105,666	93,334	108,662		
	単位あたりコスト ÷		円	902	1,151		675			
	財源	受益者負担分		千円	34,933	31,747	35,846	33,180		35,426
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	34,933	31,747	35,846	33,180		35,426
差引:一般財源 -		千円	88,606	126,196	69,820	60,154	73,236			
受益者負担比率 ÷		%	28.3	20.1	33.9	35.5	32.6			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり							
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。							

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（杉小温水プール・蚕糸の森公園運動場				整理番号	991		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673			
係名		社会体育係				上位施策名	NO				
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実	64			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		61 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他					(2) スポーツ振興法第12条			
	施設利用者		温水プール、運動場 区民、体育団体等					(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名（式） (1) 施設利用者数 (2)				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名（式） (1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	125,122	154,732		138,422				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	24.5	30.3		27				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	124,880	117,810	116,646	106,494	107,329			
	職員数（正規 非常勤）		人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17	特記事項		
	人件費	職員分（超勤分含む）	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	126,967	119,715	118,188	108,036	108,871			
	単位あたりコスト ÷		円	1,015	774		780				
	財源	受益者負担分		千円	24,092	27,987	23,564	27,515	27,889		
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	24,092	27,987	23,564	27,515	27,889		
差引：一般財源 -		千円	102,875	91,728	94,624	80,521	80,982				
受益者負担比率 ÷		%	19.0	23.4	19.9	25.5	25.6				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり								
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（高円寺体育館）				整理番号	992		細番号			
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1016		
係名		社会体育係				上位施策名		NO				
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610	生涯学習環境の整備・充実		64				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第12条							
	施設		体育館（アリーナ、小体育室）		(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則							
	利用者		区民、体育団体等									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名(式)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名(式)						
						(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人						
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人		4,658		49,424						
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%		0.9		9.6						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	44	3,267	20,444	12,247	16,222					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.01	0.22	0.17	0.17	0.17	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	91	1,996	1,542	1,542	1,542	改築のため10年度は休館、12年2月8日から改築後オープンした。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	135	5,263	21,986	13,789	17,764					
	単位あたりコスト ÷	円		1,130		279						
	財源	受益者負担分	千円	0	192	2,944	4,272	4,501				
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	192	2,944	4,272	4,501				
差引：一般財源 -		千円	135	5,071	19,042	9,517	13,263					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	3.6	13.4	31.0	25.3						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。										
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり										
	今後の予測	現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。										

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（妙正寺体育館）				整理番号	993		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1017	
係名		社会体育係				上位施策名			NO		
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610	生涯学習環境の整備・充実			64		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		37 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第12条						
	施設		体育館（アリーナ）		(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	利用者		区民、体育団体等								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名（式）				
体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。						(1) 施設利用者数					
						(2)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名（式）					
施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。						(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		人	48,756	48,611		47,663				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	9.5	9.5		9.3				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,472	6,494	6,747	7,975	6,609			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17			特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	9,559	8,399	8,289	9,517	8,151			
	単位あたりコスト ÷		円	196	173		200				
	財源	受益者負担分		千円	4,401	3,945	4,607	4,174	4,390		
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	4,401	3,945	4,607	4,174	4,390		
差引：一般財源 -		千円	5,158	4,454	3,682	5,343	3,761				
受益者負担比率 ÷		%	46.0	47.0	55.6	43.9	53.9				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり								
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（大宮前体育館）				整理番号	994		細番号				
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1018		
係名		社会体育係				上位施策名				NO			
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610		生涯学習環境の整備・充実				64		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) スポーツ振興法第12条						
	施設		体育館（アリーナ）				(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	利用者		区民、体育団体等										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名（式）						
						(1) 施設利用者数							
						(2)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名（式）							
						(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。													
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	人	35,069	35,170		35,405							
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%	6.9	6.9		6.9							
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,733	6,786	7,019	11,553	6,285						
	職員数(正規 非常勤)	人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17		特記事項 12年度の事業費には、電灯盤内リモコンユニット一式交換工事費(1,400千円)が含まれる。				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++	千円	9,820	8,691	8,561	13,095	7,827						
	単位あたりコスト ÷	円	280	247		370							
	財源	受益者負担分	千円	3,253	2,855	3,263	3,059	3,082					
		国・都からの支出金	千円										
		その他特定財源	千円										
		特定財源計 ++	千円	3,253	2,855	3,263	3,059	3,082					
差引：一般財源 -	千円	6,567	5,836	5,298	10,036	4,745							
受益者負担比率 ÷	%	33.1	32.8	38.1	23.4	39.4							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。											
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり											
	今後の予測	現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。											

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（永福体育館）				整理番号	995		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1019	
係名		社会体育係				上位施策名		NO			
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610	生涯学習環境の整備・充実		64			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		43 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第12条						
	施設		体育館（アリーナ）		(3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	利用者		区民、体育団体等								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名（式）				
体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。						(1) 施設利用者数					
						(2)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名（式）					
施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。						(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	33,949	33,504		34,871				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	6.6	6.6		6.8				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,449	8,570	7,907	8,034	34,125			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17		特記事項 13年度の事業費には、外壁全面・施設部分改修工事費(26,500千円)が含まれる。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,536	10,475	9,449	9,576	35,667			
	単位あたりコスト ÷		円	310	313		275				
	財源	受益者負担分		千円	3,171	3,010	3,076	3,262	2,996		
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	3,171	3,010	3,076	3,262	2,996		
差引：一般財源 -		千円	7,365	7,465	6,373	6,314	32,671				
受益者負担比率 ÷		%	30.1	28.7	32.6	34.1	8.4				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり								
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（荻窪体育館）				整理番号	996		細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1020	
係名		社会体育係			上位施策名				NO		
予算事業名		体育施設維持運営 財団法人杉並区スポーツ振興財団		コード	84400 84610	生涯学習環境の整備・充実				64	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		3 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) スポーツ振興法第12条						
	施設		体育館（アリーナ、武道場、小体育室）								
	利用者		区民、体育団体等								
	施設		区民、体育団体等								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		体育施設の維持管理を行うとともに、財団法人杉並区スポーツ振興財団に管理運営を委託する。				活動指標名(式)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。									
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	人	82,154	85,835		88,694					
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	16.1	16.8		17.3					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	51,202	45,637	44,071	43,601	42,751				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.23	0.21	0.17	0.17	0.17	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	1,905	1,542	1,542	1,542			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	53,289	47,542	45,613	45,143	44,293				
	単位あたりコスト ÷	円	649	554		509					
	財源	受益者負担分	千円	5,455	5,338	5,723	5,503	6,326			
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	5,455	5,338	5,723	5,503	6,326			
差引:一般財源 -		千円	47,834	42,204	39,890	39,640	37,967				
受益者負担比率 ÷	%	10.2	11.2	12.5	12.2	14.3					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり									
	今後の予測	現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。									

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持運営（井草森公園運動場）				整理番号	997		細番号						
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704		連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	1021				
係名				社会体育係				上位施策名		NO					
予算事業名				体育施設維持運営		コード	84400		生涯学習環境の整備・充実		64				
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		8		年度						
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号 (2) スポーツ振興法第12条 (3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則								
	施設				運動場										
	利用者				区民、体育団体等										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				体育施設の維持管理・運営を行う。				活動指標名（式）				(1) 施設利用者数 (2)			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。				成果指標名（式）				(1) カバー（場の提供）率～区人口に占める利用者数～ 区人口＝住民基本台帳登録人口＋外国人登録人口 各年4月1日現在、10年＝510,702人、11年＝511,344人、 12年＝513,180人			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度計画		12年度実績		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	11,559		7,222				17,637					
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	2.3		1.4				3.4					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,070		12,845		12,118		11,898		12,118			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	6.00	0.21	6.00	0.17	6.00	0.17	6.00	0.17	6.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,087		1,905		1,542		1,542		1,542		
		非常勤職員分		千円	17,634		17,634		17,634		17,634		17,634		
	総事業費 ++		千円	31,791		32,384		31,294		31,074		31,294			
	単位あたりコスト ÷		円	2,750		4,484				1,762					
	財源	受益者負担分		千円	1,585		1,280		1,420		1,157		1,435		
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	1,585		1,280		1,420		1,157		1,435		
差引：一般財源 -		千円	30,206		31,104		29,874		29,917		29,859				
受益者負担比率 ÷		%	5.0		4.0		4.5		3.7		4.6				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年の急激な社会変化に伴い、区民の生涯スポーツに対する期待は、質・量ともに高まっており、多様なニーズに対応する必要性が生じている。												
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		施設設備の充実・拡充、使用料のあり方、施設の使用方法等についての要望あり												
	今後の予測		現代社会においてスポーツは、健康や体力維持・増進に貢献することはいうまでもなく、生活の質を心身ともに豊かにする、欠くことのできない人類文化の一つであり、ニュースポーツの普及等により今後ますますスポーツ振興の重要性が高まると思われる。												

平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(財)杉並区スポーツ振興財団に対する運営等補助金				整理番号	998	細番号		
所属部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600704	連絡先電話番号	1673	昨年度整理番号	1022	
係名				社会体育係		上位施策名		NO		
予算事業名				財団法人杉並区スポーツ振興財団		生涯学習環境の整備・充実		64		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		5年度			
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	財団法人杉並区スポーツ振興財団						(1) 杉並区財団法人に対する助成に関する条例及び同施行規則 (2) 杉並区財団法人に対する補助金交付要綱 (3) 杉並区体育施設等に関する条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して必要な経費を助成する。		活動指標名(式)			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、財団運営の安定に資する。		成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				財団の安定した経営により、区民の生涯スポーツ活動の活性化を促進し、健康で潤いのある豊かな暮らしの実現と活力ある地域社会の形成に貢献している。もって、区民が、スポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう寄与する。		(1) 教室・イベント事業参加者数 (2)				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	999,898	1,124,552		1,205,449				
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	人	29,179	70,693		60,670				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	414,893	448,848	459,899	441,893	483,684			
	職員数(正規 非常勤)	人	1.24	1.22	1.00	0.97	0.97	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,251	11,069	9,073	8,801	8,801		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	426,144	459,917	468,972	450,694	492,485			
	単位あたりコスト ÷	円	426	409		374				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	426,144	459,917	468,972	450,694	492,485			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	財団の財政基盤及び人的・組織的強化が図られ、区民スポーツ活動の活性化を促進した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	財団の実施するスポーツ教室等の事業に対する期待等								
	今後の予測	社会状況の変化に伴い、区民の生涯スポーツ活動に関するニーズは質・量ともに高まっており、今後ますます財団に対する区民の期待は大きくなるものと思われる。								